

**荒川区 指定管理者
平成24年度分 実績評価結果**

平成25年9月

目 次

評価項目及び評点について ... 3	障がい者施設
文化施設	荒川生活実習所 ... 62
荒川区民会館（サンパール荒川） ... 4	荒川福祉作業所 ... 64
日暮里サニーホール ... 6	尾久生活実習所本所 / 分場 ... 66
荒川区ムーブ町屋 ... 8	障害者福祉会館 ... 68
ふれあい館 / ひろば館	精神障害者地域生活支援センター ... 70
南千住ふれあい館 ... 10	障害者グループホーム ... 72
南千住駅前ふれあい館 ... 12	区営・区民住宅
汐入ふれあい館 ... 14	荒川区営住宅（南千住二丁目、町屋五丁目... 74
峡田ふれあい館 ... 16	町屋七丁目、西尾久三丁目、西尾久七丁目）
荒川山吹ふれあい館 ... 18	荒川区民住宅（町屋五丁目、町屋八丁目 ... 76
町屋ふれあい館 ... 20	西日暮里三丁目、東日暮里六丁目）
荒木田ふれあい館 ... 22	保育園
尾久ふれあい館 ... 24	小台橋保育園 ... 78
西尾久ふれあい館 ... 26	上尾久保育園 ... 80
東日暮里ふれあい館 ... 28	南千住さくら保育園 ... 82
西日暮里ふれあい館 ... 30	汐入とちのき保育園 ... 84
東日暮里三丁目ひろば館 ... 32	はなみずき保育園 ... 86
特別養護老人ホーム / 在宅高齢者通所 S C	南千住保育園 ... 88
特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 ... 34	南千住七丁目保育園 ... 90
グリーンハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 36	自転車等駐車場
特別養護老人ホームサンハイム荒川 ... 38	南千住駅東口自転車等駐車場 ... 92
サンハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 40	センターまちや自転車駐車場 ... 94
特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 ... 42	日暮里駅前自転車駐車場 ... 96
花の木ハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 44	生涯学習施設
西日暮里在宅高齢者通所 S C ... 46	町屋文化センター ... 98
町屋在宅高齢者通所 S C ... 48	清里高原ロッジ / 清里高原少年自然の家 ... 100
南千住中部在宅高齢者通所 S C ... 50	生涯学習センター ... 102
東日暮里在宅高齢者通所 S C ... 52	スポーツ施設
荒川東部在宅高齢者通所 S C ... 54	荒川総合スポーツセンター ... 104
西尾久西部在宅高齢者通所 S C ... 56	
高齢者福祉施設	
荒川老人福祉センター ... 58	
授産場 ... 60	通所サービスセンターを「S C」と記載しています。

< 評価項目及び評点について >

実績評価にあたっては、次の7項目を基本とし、施設種別に評価の視点を設定した。

- ア 適切な施設運営・維持管理
- イ 区民サービス・利用者意見
- ウ 危機管理・苦情・事故等の対応
- エ 収支状況・縮減努力
- オ 法人決算
- カ 労務
- キ 地域との関わり等

評価項目ごとにA、A-、B+、B、B-、Cの6段階で評価を行った。

< 上記のアからウについて >

- A：優れた内容の事業計画書等に基づき、適切に業務が行われていた。
- B：概ね業務仕様書等の内容どおりに業務が行われていた。
業務の一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：業務仕様書等の内容を下回っており、改善の見込みがない。

< エ 収支状況・縮減努力について >

- A：会計手続及び予算管理が適正であり、経費縮減の努力が行われていた。
- B：概ね会計手続及び予算管理等が適切に行われていた。
一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：会計手続及び予算管理等に問題があり、改善の見込みがない。

< オ 法人決算について >

- A：安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
- B：安定的・継続的な運営に一部改善の必要があるが、改善の見込みがある。
- C：安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

< カ 労務について >

- A：労務環境が適正である。
- B：労務環境に一部改善の必要があったが、改善された。
- C：労務環境に問題があり、改善の見込みがない。

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要																												
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）																										
	所在地	荒川区荒川1-1-1																										
指定管理者	名称	MKT共同事業体 （構成団体：代表企業・(株)三菱電機ビルテクノサービス、 (株)共立、(株)スペースネットワーク）																										
	所在地	荒川区荒川7-19-1(代表企業所在地)																										
施設開設年月日		昭和50年3月28日																										
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日																										
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日																										
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（以下、「ACC」という。）の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <table border="0"> <tr> <td>大ホール</td> <td>収容人員1,120席</td> <td>面積1,162㎡</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>収容人員300席（移動席）</td> <td>面積281㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">集会室</td> <td>第1（洋室）</td> <td>定員32名 面積78㎡</td> </tr> <tr> <td>第2（洋室）</td> <td>定員50名 面積73㎡</td> </tr> <tr> <td>第3（洋室）</td> <td>定員50名 面積85㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2・3は通し使用可能</td> </tr> <tr> <td>第4（和室）</td> <td>定員40名 面積90㎡</td> </tr> <tr> <td>第5（洋室）</td> <td>定員50名 面積92㎡</td> </tr> <tr> <td>第6（洋室）</td> <td>定員50名 面積99㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第5・6は通し使用可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第7（洋室）</td> <td>定員100名 面積184㎡</td> </tr> </table>		大ホール	収容人員1,120席	面積1,162㎡	小ホール	収容人員300席（移動席）	面積281㎡	集会室	第1（洋室）	定員32名 面積78㎡	第2（洋室）	定員50名 面積73㎡	第3（洋室）	定員50名 面積85㎡	第2・3は通し使用可能		第4（和室）	定員40名 面積90㎡	第5（洋室）	定員50名 面積92㎡	第6（洋室）	定員50名 面積99㎡	第5・6は通し使用可能			第7（洋室）	定員100名 面積184㎡
大ホール	収容人員1,120席	面積1,162㎡																										
小ホール	収容人員300席（移動席）	面積281㎡																										
集会室	第1（洋室）	定員32名 面積78㎡																										
	第2（洋室）	定員50名 面積73㎡																										
	第3（洋室）	定員50名 面積85㎡																										
	第2・3は通し使用可能																											
	第4（和室）	定員40名 面積90㎡																										
	第5（洋室）	定員50名 面積92㎡																										
	第6（洋室）	定員50名 面積99㎡																										
第5・6は通し使用可能																												
	第7（洋室）	定員100名 面積184㎡																										
平成24年度の事業計画																												
<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、意見交換会開催、利用者アンケート集計、広報誌発行、行事案内等 2. 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報取扱いに関する研修、ビジネスマナー研修等 																												
平成24年度の実績																												
<ol style="list-style-type: none"> 1. 上記管理運営事務の実施 2. 利用料金収入 66,279,778円 3. 稼働率 大ホール57.6% 小ホール63.4% 集会室42.7% 																												

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	229,426,000	227,031,800	234,865,000	230,983,200
	決算	243,923,776	245,115,898	244,307,832	
支出	予算	229,426,000	227,031,800	234,865,000	230,983,200
	決算	237,423,914	234,157,344	239,002,541	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	6,499,862	10,958,554	5,305,291	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	B
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	B+
7 地域との関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕工事は専門性の高い機器の37件を除き、他の28件は全て区内業者への発注を行った。 ・区民雇用率：21.7% ・障害者雇用率：1.96% ・蛍光灯の間引きや空調の使用制限等を実施し、電力使用量の「22年度のピーク時比較15%削減」を目標として節電に努めている。

総評

[サービス面の評価]

- ・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。
- ・大ホールや小ホール利用にあたっては、イベントをより円滑にできるように主催者へのサポートの向上に努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正である。指定管理者であるMKT共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また、労務面については、昨年度に引き続き一部の提出書類に漏れや確認が不十分な点が確認されたが、実態として、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

施設管理面・財務面は良好であり、危機管理・苦情・事故等の対応については特に良好であった。一方で労務面については、一部の提出書類に漏れや不十分な点があったが、改善が図られている。また、サービス面ではなお改善すべき面がある。全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	区民課
--------	---	-------	---	-----

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里5 - 50 - 5 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	日暮里サニーホールさくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麹町5 - 1 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p>< 施設の概要 > 多目的ホール 収容人員500名(フラット時) / 面積404m² コンサートサロン 収容人員100名(フラット時) / 面積113m² 会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57m²) 第2会議室 収容人員12名(面積25m²) 第3会議室 収容人員12名(面積28m²) 第2, 3会議室は通し使用可能</p>	
平成24年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、賠償責任保険への加入、利用者アンケート調査、情報誌の作成及び刊行 2 研修 安全管理研修、ビジネスマナー研修等 		
平成24年度の実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記事業計画の実施 2 利用料金収入 51,247,350円 3 稼働率 ホール64.5% コンサートサロン86.7% 会議室74.3% 		

施設決算状況

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)	
収入	予算	99,648,000	55,024,000	93,891,054	94,248,000
	決算	100,071,724	59,134,040	94,141,774	
支出	予算	99,648,000	54,687,460	93,891,054	94,248,000
	決算	96,824,342	47,011,892	96,650,641	
収支	予算	0	336,540	0	0
	決算	3,247,382	12,122,148	-2,508,867	

(備考)

1. 指定管理者の変更 24年度から指定管理者が変更になった。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	B+
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	B+
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕工事では、11件中、専門性の高い6件を除く他の5件全てを区内業者に発注した。 ・障害者雇用率：1.72% ・区民雇用率：9.0% ・照明の間引きや適切な空調設定等による節電、事務室及び第一会議室の照明のLED化、消耗品の徹底した在庫管理に努めていた。

総評

[サービス面の評価]

- ・指定管理期間の初年度であるが、大きな事故やトラブルはなく、適切な管理運営を行っていた。
- ・特に、荒川区ムーブ町屋と一体化した情報誌の発行、事務室受付のレイアウト変更による環境美化、コピーのセルフサービス化、音楽情報誌の配架といった新たな取り組みを実施する等、サービスの向上に意欲的であった。
- ・区への連絡や報告が迅速かつ的確に行われ、情報共有の姿勢がしっかりしており、利用者への対応について区と連携して行うという指定管理者の役割を認識していた。

[財務・労務面の評価]

指定管理事業の収支はマイナスとなっているが、決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査の結果、会計手続及び予算管理は概ね適正であり、経費縮減の努力が行われていた。また指定管理者である日暮里サニーホールさくらグループは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。また、労務面については、一部の提出書類に漏れや確認が不十分な点が確認されたが、実態として、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

24年度は指定管理初年度であったにもかかわらず、サービス面・財務面は良好であった。一方で労務面については、一部の提出書類に漏れや不十分な点があったが、25年度以降は改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	区民課
--------	---	-------	---	-----

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川7-50-9 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	ムーブ町屋さくらグループ (構成団体:代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麹町5-1弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> 多目的ホール 収容人員296席/面積343m ² 会議室A(ハイビジョンルーム) 収容人員70席/面積59m ² 会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70m ² スタジオ 収容人員10名程度/面積51m ² 企画展示コーナー オープンスペース/面積145m ² (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185m ²)	
平成24年度の事業計画		
1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、賠償責任保険への加入、利用者アンケート調査、情報誌の作成及び刊行 2 研修 安全管理研修、個人情報保護研修等		
平成24年度の事業実績		
1 上記事業計画の実施 2 利用料金収入 29,460,138円 3 稼働率 ムーブホール67.9% 会議室A(ハイビジョンルーム)47.1% 会議室B(ミニギャラリー)63.8% スタジオ71.4% 企画展示コーナー(ギャラリー)43.0%		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	68,333,000	49,713,000	64,441,080	62,137,000
	決算	64,070,603	50,595,030	61,872,284	
支出	予算	68,333,000	49,713,000	64,441,080	62,137,000
	決算	65,447,268	36,450,209	62,525,994	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-1,376,665	14,144,821	-653,710	

(備考)

1. 指定管理者の変更 24年度から指定管理者が変更になった。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	B+
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	B+
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕工事では、17件中、専門性の高い8件を除く他の9件全てを区内業者に発注した。 ・障害者雇用率：1.72% ・区民雇用率：9.0% ・照明の間引きや適切な空調設定等による節電、ギャラリー壁側の照明のLED化、消耗品の徹底した在庫管理に努めていた。

総評

[サービス面の評価]

- ・指定管理期間の初年度であるが、大きな事故やトラブルはなく、適切な管理運営を行っていた。
- ・特に、日暮里サニーホールと一体化した情報誌の発行、弁当や飲料などのワンストップサービスの実施、音楽情報誌の配架といった新たな取り組みを実施する等、サービスの向上に意欲的であった。
- ・区への連絡や報告が迅速かつ的確に行われ、情報共有の姿勢がしっかりしており、利用者への対応について区と連携して行うという指定管理者の役割を認識していた。

[財務・労務面の評価]

指定管理事業の収支はマイナスとなっているが、決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査の結果、会計手続及び予算管理は概ね適正であり、経費縮減の努力が行われていた。また指定管理者であるムーブ町屋さくらグループは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。また、労務面については、一部の提出書類に漏れや確認が不十分な点が確認されたが、実態として、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

24年度は指定管理初年度であったにもかかわらず、サービス面・財務面は良好であった。一方で労務面の視点においては、書類管理の一部に不十分な点があったが、25年度以降は改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	区民課
--------	---	-------	---	-----

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社
	所在地	渋谷区代々木二丁目1番1号 新宿マインズタワー18階
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1,227.78㎡（防災備蓄倉庫・消防団施設を含む） 延床面積 1,496.55㎡（専用） （1階616.47㎡、2階328.25㎡、3階515.82㎡、塔屋36.01㎡）</p> <p>施設内容 1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室・相談室、和室1・2 2階…多目的室、プレイルーム、創作室 3階…音楽室、洋室1、洋室2 塔屋…屋上広場（152㎡） その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>乳幼児・児童・青少年・成人・高齢者のあらゆる世代の人々が気軽に利用でき、ふれあいと交流を持てる地域の拠点となる施設作りを目指す。</p> <p>保護者が楽しんで子育てできるような環境を整え、乳幼児の健全な育成を支援する。 児童に健全な遊びや交流等の機会を提供し、健康な体と豊かな心を創り上げる事業を行う。 中高生の非行や孤立を防止できるよう居場所の提供を行い、健全育成を支援する。 成人（高齢者含む）を対象にスポーツや文化的趣味講座を開催し、新たな活動に発展できるよう支援する。 高齢者が生きがいを持って積極的に社会参加ができるよう支援する。 乳幼児から高齢者までの利用者・地域住民・町会等が一体となって交流を深められるよう機会を提供する。</p>		
平成24年度の実績		
<p>乳幼児タイムの他、ママリフレッシュ、ベビーミュージック、プール開放等の事業を実施した。デイキャンプ、わくわくまつりのような大型行事以外でも普段から子どもが興味を持ちそうな創作のプログラムを提供した。</p> <p>瑞光ひろば館、地蔵堀ひろば館で実施されていた事業を継続した。各世代が協力して「南千住わくわくまつり」を開催した。「交流ご長寿マーケット」では小学生と高齢者との交流を行った。また、瑞光小学校の仕事体験を受け入れ乳幼児親子との交流を行った。</p> <p>南千住地区の各会議への参加と行事の手伝い（なかよしまつり、わくわくまちあるきたんけん隊、凧揚げ大会、天王祭等）を行い、地域の様子を知ることができた。</p>		
<p>世代別入館者数 24年度新設館なので前年度実績なし</p> <p>幼児 10,510名 小学生 14,782名 中学生 2,583名 大人(高校生含) 12,867名 内：高校生 48名 内：18歳以上 12,819名 高齢者 13,354名 総入館者数 54,096名</p>		

施設決算状況

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算		45,078,573	45,637,640
	決算		45,181,292	
支出	予算		43,373,704	45,637,640
	決算		43,161,902	
収支	予算		1,704,869	0
	決算		2,019,390	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	幼児事業として、隣接する特別養護老人ホーム「グリーンハイム」に親子で訪問し、踊りやプレゼントを渡すなど交流を行った。
・区内事業者の活用	家屋等修繕、壁面緑化は区内業者を活用した。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤1名、非常勤3名、計4名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は0.89%である。
・環境やエコに関する取組	節電、節水を職員に周知し、照明器具の間引きや空調温度設定など積極的に取組みを行った。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者であるテンプスタッフ・ウィッシュ株式会社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号 アクレスティ南千住2F
指定管理者	名称	株式会社日本デイクアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号 NSビル4F
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成22年4月1日～平成25年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 3,095.83㎡ 延床面積 977.88㎡(専用) (2階394.37㎡ 3階583.51㎡) 施設内容 2階...サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、事務室 3階...創作室、プレイルーム、和室、洋室1・2・3・4 その他...だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>幼児タイム等の事業を行うとともに、親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境をつくる。また、子育て支援活動として、子育て相談を行う。 多くの子供たちが参加できるような、サークル活動や行事を実施し、子供たちの交流を図る。 使用方法を工夫し、遊具をそろえる。 中高生の健全な育成と交流の拠点の場となるよう努める。 中学生の職場体験を積極的に受け入れ、中学生の健全育成に努める。 区民相互の交流と自主的活動の援助を行う。また各種ボランティアによる講座を設立し、文化的生活の向上や余暇の充実が図られるように支援していく。 地域住民が気軽に集えるように昼食時に会議室を開放し、交流支援を行う。</p>		
平成24年度の実績		
<p>親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境を作った。多くの子どもたちが参加できるようなサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図った。 中高生の健全な育成と交流の拠点となるよう努めた。 区民相互の交流と自主的活動促進の援助を行った。各種ボランティアによる講座を設立し、文化的生活の向上や、余暇の充実が図られるように支援した。 地域住民や高齢者が気軽に集まれるよう昼食時に会議室を開放し、交流の支援をした。</p> <p>世代別入館者数 カッコ内は昨年入館者数 幼児 9,882名(10,050名) 小学生 14,052名(12,342名) 中学生 1,698名(210名) 大人(高校生含) 13,198名(13,340名) 内：高校生 6名(0名) 内：18歳以上 13,192名(13,340名) 高齢者 12,346名(10,520名) 総入館者数 51,176名(46,462名)</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	39,802,942	39,993,678	40,043,678	40,053,678
	決算	39,802,942	39,993,678	40,043,678	
支出	予算	39,802,942	39,993,678	40,043,678	40,053,678
	決算	34,679,860	33,102,767	35,205,579	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	5,123,082	6,890,911	4,838,099	
(備考)					

評価項目		評価
1	適切な施設運営・維持管理	A
2	区民サービス・利用者意見	A
3	危機管理、苦情、事故等への対応	A
4	収支状況・縮減努力	A -
5	法人決算	A
6	労務	A -
7	地域との関わり	
・地域との協働内容	24年6月30日にコーラスサークル「ミルフィーユハーモニー」が近隣にあるデイサービスの高齢者施設「癒しの里」に慰問に行った。	
・区内事業者の活用	電気設備や清掃等、区内2業者に委託。	
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤2名、非常勤3名、計5名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用無し。	
・環境やエコに関する取組	ペットボトルや牛乳パック等を用いたりサイクル工作教室を開催。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力の努力が見受けられる。また指定管理者である株式会社日本デイケアセンターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行なっている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署 **部** 区民生活部 **課** 地域振興課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日	平成17年4月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成17年4月1日	
指定期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 2,090.00㎡ 延床面積 1,237.38㎡ (1階55.06㎡ 2階762.49㎡ 3階419.83㎡)</p> <p>施設内容 2階...サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、和室、図書室、事務室 3階...創作室、プレイルーム、学童クラブ室、洋室 その他...だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>乳幼児を育てている母親たちが集い、交流し、子供たちとの関わりを楽しみ、子育ての情報交換や悩み相談の出来る場と活動を提供し、子育てを支援する。 家庭や学校とは異なる環境で、異年齢の交流を大切にし、子供の生きる力や社会性を培っていく。 中高生事業として、他者との関係を広げながら、その関わりのなかで、自立への力を積み重ねるようにしていく。 地域の方々と共に成人世代交流を行い、ボランティアへの協力を促進する。 事業を通じ、趣味・生きがいを作り高齢者の仲間作りを支援していく。 イベントを共に行うことで、異年齢、多世代の交流を促進していく。</p>		
平成24年度の実績		
<p>「あらかわ家族の日」のプログラムを工夫した。地域の希望要望を反映し、劇団公演および和太鼓の演奏を実施した。特に和太鼓は、子どもを交えたワークショップを実施し、好評だった。 成人および高齢者事業では、おでかけを企画し、東京タワーと六義園を行き先とした。また、小学生との交流を企画し、交流卓球大会、交流わなげ大会を実施した。 希望要望を反映し、母親向けの「ピラティス」に加え「エアロビクス」も実施した。定員がほぼ埋まるほどの参加状況が毎回続いた。 乳幼児プログラムはこれまで以上に力を入れた。汐入地域に待機児童がいるという地域事情を鑑みて、新生児から年長児まで、なるべく各年齢別にクラスを設置した。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年入館者数	
幼児	13,857名(15,063名)	
小学生	32,417名(31,652名)	
中学生	4,620名(3,366名)	
大人(高校生含)	17,787名(18,208名)	
内：高校生	392名(269名)	
内：18歳以上	17,395名(17,939名)	
高齢者	7,506名(7,169名)	
総入館者数	76,187名(75,458名)	

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	41,014,418	41,309,573	41,309,573	41,309,573
	決算	41,016,299	41,310,826	41,311,912	
支出	予算	41,014,418	41,309,573	41,309,573	41,309,573
	決算	44,090,674	38,450,311	40,890,422	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-3,074,375	2,860,515	421,490	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	A -
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	地域住民や他館利用者等と、「南千住なかよしまつり」に参加した。
・区内事業者の活用	可能な限り、地元汐入地区で買い物をしている。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、非常勤1名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は0.97%である。
・環境やエコに関する取組	子供服リサイクルの実施。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティーの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、経費計上が適切でない科目があったが、経費縮減の努力が行われていた。また指定管理者である社会福祉法人雲柱社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行なっている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	東京都豊島区池袋三丁目1番2号
施設開設年月日	平成23年4月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成23年4月1日	
指定期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1,283.89㎡ 延床面積 1,767.90㎡ (1階494.35㎡ 2階543.14㎡ 3階710.86㎡ 塔屋19.55㎡)</p> <p>施設内容 1階...サロン、親子ふれあいひろば、授乳室、事務室 2階...音楽室、和室1、和室2、洋室1、洋室2、調理・会議室 3階...多目的室、創作室、プレイルーム、相談室、学童クラブ室 その他付属設備...だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>荒川地域のふれあい館として関係各所や地域との連携を深める。 乳幼児事業は母親支援に重点を置いて、児童館ガイドラインに沿って事業を進める。 児童事業は児童福祉の観点から遊びと生活の場を提供する。特に支援が必要な子に関しては子ども家庭支援センターや児童相談所と連携して進める。 中高生事業は館内だけでなく、地域社会へ活動の場を広げられるように支援していく。 成人事業・高齢者事業は生涯学習のきっかけとなる活動を行う。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>乳幼児事業については、0歳児と1歳児前半の事業が特に好評で、満員状態となった。 児童事業に関しては、概ね実施できた。小学生では9月からダンスサークルも始まり、好評を博した。 中高生事業は、バンドや工作を始め、レンタルスペース事業などの利用者も増えた。キンボールクラブでは荒川区民大会で優勝という好成績を収めた。また、中高生街づくり会議も行い、地域や家族から好評だった。 成人および高齢者事業については、介護予防サポーター講座（初級）が好評である。</p> <p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年入館者数</p> <p>幼児 14,963名(8,849名) 小学生 10,762名(22,296名) 中学生 4,108名(9,572名) 大人(高校生含) 26,748名(17,875名) 内:高校生 2,746名(2,717名) 内:18歳以上 24,002名(15,158名) 高齢者 20,355名(16,176名) 総入館者数 76,936名(74,768名)</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算		45,600,998	45,509,998	46,162,153
	決算		45,195,352	45,502,216	
支出	予算		45,600,998	45,509,998	46,162,153
	決算		40,891,993	41,615,012	
収支	予算		0	0	0
	決算		4,303,359	3,887,204	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	B +
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	峡田小PTAが主催する納涼大会に峡田ふれあい館としてブースを出した。
・区内事業者の活用	清掃・消防用設備保守点検・自家用電気工作物保守等を区内業者に委託。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤1名、非常勤3名、計4名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.64%である。
・環境やエコに関する取組	不要な照明を消灯するなど、積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である特定非営利活動法人ワーカーズコープは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行なっている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務面は良好であった。一方、労務面について一部課題があるが、改善の見込みがあり、全体として、指定管理者業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日	平成18年2月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成18年2月1日	
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 878.88㎡ 延床面積 1,230.26㎡ (1階410.68㎡ 2階410.68㎡ 3階383.83㎡ 屋上 25.07㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、事務室、和室1・2 2階…洋室1・2、創作室、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、茶室 3階…多目的室 屋上…屋上庭園 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、 相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>育児体操や親子ふれあい遊び、地域の高齢者との交流の場を設ける。また保護者には、子育て支援講座を行い子育ての支援を行う。</p> <p>館の行事について「子ども会議」を実施し、児童と職員が共に企画・運営活動を行う。</p> <p>児童対象の遠足で、東京スカイツリーに新たにできた、すみだ水族館に行く。</p> <p>進級・卒業後も継続して利用できるようスポーツ教室・音楽教室を行う。</p> <p>体操・うた・踊り等を通じ、高齢者のふれあいの場を提供し、ひとり暮らしの方を対象にした「ふれあいランチ」を実施する。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>施設近隣にある荒川自然公園への遠足を、乳幼児事業として各タイムの年齢ごとに実施した。また、講師を招き、「どんな子に育ってほしいか？」など子育てに対する考えの講座を実施した。また、応急救護講習会を実施した。小さな子どもを持つ成人向け事業として、子どもの誤飲や転落事故など、子どもに多い事故を想定して応急処置と予防についての講習会を行った。</p> <p>調理実習室がある施設的特徴を活用して、料理教室を定期的に変更して実施した。登録制をとり、年間を三期に分割して実施した。登録制ではない自由参加制の料理教室も、子どもから高齢者までさまざまな年齢層向けに実施した。</p> <p>「じいじ・ばあばとあそび」は児童と高齢者の交流事業であり、区内の他館でも実施されているが、「じいじ・ばあばと踊ろう」等、元の事業をさまざまにアレンジして数種類の事業に発展させている。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年の来館者数</p> <p>幼児 9,937名(9,879名)</p> <p>小学生 6,214名(5,779名)</p> <p>中学生 1,372名(2,817名)</p> <p>大人(高校生含) 12,691名(11,465名)</p> <p>内：高校生 1,080名(771名)</p> <p>内：18歳以上 11,611名(10,694名)</p> <p>高齢者 14,084名(14,718名)</p> <p>総入館者数 44,298名(44,655名)</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	44,011,798	44,472,028	44,423,028	44,726,018
	決算	44,011,798	46,086,597	44,957,228	
支出	予算	44,011,798	44,472,028	44,423,028	44,726,018
	決算	44,011,798	46,086,597	44,957,228	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	B -
5 法人決算	B -
6 労務	A
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	荒川地域「にこにこ文化祭」に参加して他施設や地域との交流を深めた。
・区内事業者の活用	消防用設備保守点検および空調設備保守点検を区内業者に委託。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤4名、非常勤5名、計9名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用無し。
・環境やエコに関する取組	屋上でチューリップを栽培した。また、不用品などを活用する交換会として、リサイクルひろばを開催した。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理に一部不備がみられたが指摘事項は解決あるいは改善された。また指定管理者である特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会の財務内容は、三期連続収支差額赤字、二期連続債務超過状態であり、安定的・継続的な運営に支障をきたすことが懸念される財務内容である。事業者は改善計画を立案し、実行に取り組んでおり改善の見込みがあると判断する。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、要件を満たしており、労務環境は適切である。

[総合評価]

サービス面、労務面は良好であった。一方、財務面について一部課題があるが、改善が図られており、全体として、指定管理者業務は確実に実行されていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人 雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日	平成24年4月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成24年4月1日	
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1,333.67㎡ 延床面積 1,494.30㎡ (1階505.75㎡ 2階518.13㎡ 3階470.42㎡) 施設内容 1階...事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2 2階...プレイルーム、創作室、窯室、音楽室、洋室、授乳室・相談室 3階...多目的室 屋上...屋上庭園 その他...だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>町屋ひろば館がこの地域で長きにわたって培ってきた実績を継承し、さらに地域に根差した事業を展開していく。</p> <p>乳幼児事業は地域の母親の交流も兼ねて安心して参加できる事業運営を行う。また、子どもが生活体験を広げ、集団生活のルールや遊びの楽しさを体験できるようにする。</p> <p>児童事業は子ども会議を開催して子どもから生の声を聞く機会を設けることで、子どもが事業運営に関われる体制をつくる。</p> <p>成人および高齢者事業は親近感のあるプログラムを実施する。和室を中心に、事業運営に関する希望や要望を利用者から聞き取り反映させる。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>平成24年度に開館した新設館だが、旧町屋ひろば館利用者の中で大きな戸惑いはなく、町屋地域の子育て拠点の1つとして一定の認知を得た。地域に3箇所ある小学校から児童利用があるが、あらゆる学年にマッチした遊びの提供ができてい</p> <p>町会主催の夕涼み会や盆踊りの出し物など、様々な形で地域に対して交流を働きかけた。地域の盆踊りの出し物のお手伝い等の形で参加した。</p> <p>ころばん体操や健康ストレッチやカラオケ・合唱など、心と体の健康増進のために施設の利用を促した。同じ町屋地域にある荒木田ふれあい館と共催した町屋ふれあい文化祭が盛況だった。</p>		
世代別入館者数	24年度新設館なので前年度実績なし	
幼児	8,581名	
小学生	13,108名	
中学生	2,888名	
大人(高校生含)	9,591名	
内：高校生	188名	
内：18歳以上	9,403名	
高齢者	4,198名	
総入館者数	38,366名	

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算			45,385,038	46,461,005
	決算			45,385,038	
支出	予算			45,385,038	46,461,005
	決算			45,400,856	
収支	予算			0	0
	決算			-15,818	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	B
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	町屋青少年育成委員会会合の会場提供や、町会夕涼み会の後援等を実施した。
・区内事業者の活用	空調設備保守点検および壁面緑化パネル保守点検を区内業者に委託。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、非常勤6名、区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、障害者の雇用は0.97%である。
・環境やエコに関する取組	電力需要の高まる夏季の陶芸事業では、閑散期となるお盆前後に、利用者の理解と協力のもと一時休業するなど工夫を図った。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、指定管理事業の収支はマイナスとなっている。決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査の結果、会計手続き及び予算管理について、適切に経費計上されていない科目があったので、一部経費について改善を要する。指定管理者である社会福祉法人雲柱社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、労務面は良好であった。一方、財務面について一部課題があるが、改善の見込みがあり、全体として、指定管理者業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社 大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区町屋五丁目10番9号
施設開設年月日	平成16年10月26日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成16年10月26日	
指定期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 783.58㎡ 延床面積 1,215.43㎡ (1階525.91㎡ 2階282.18㎡ 3階363.53㎡ 屋上 43.81㎡)</p> <p>施設内容 1階...サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、事務室 2階...創作室、プレイルーム、調理・会議室 3階...和室1・2、洋室1・2、音楽室 その他...だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>生活のための地域社会を実現する。 遊びや様々な活動において必要な「出会い」を提供し、集まった人々が「交流」につながるようなプログラムを提供する。そこから地域全体で地域住民をサポートし合える信頼関係作りを行い、その地域の一部として認知してもらえる施設作りを目指す。 交流を通じて集まった自主グループに施設を活用してもらおう。 関係作りは、近隣地域住民（町会、民生委員等）に限らず徐々に地域を拡大していく。 地域住民との関係作りに「荒木田ふれあいまつり」を活用する。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>地域の社会資源や地域ボランティア等の人的資源を活用した子育て支援的な位置付けとし、乳幼児タイムを実施した。親とふれあうことで遊びの楽しさを味わい、乳幼児や母親同士の交流の場として友達作りの支援を行った。また、子育ての孤立化を防止し仲間作り（自主サークル）を促進するため、子育て中の親子がいつでも気軽にふれあい交流が出来る場を提供した。 ボランティアまたは講師に依頼し、さまざまな事業を行い、自主サークル活動への発展を支援し、時には新規事業を立ち上げた。行事等によるものだけでなく、サロンスペースの掲示板やチラシを利用して、常時ボランティアを募集し、地域住民や事業参加者と交流した。 定期的に、子ども会議やアンケート調査、または投書箱など、世代別に利用者の事業に対する要望やクレームを吸い上げる場と機会を設け、可能な範囲で事業に反映させた。また、世代間交流事業の展開の糸口とした。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年入館者数	
幼児	10,558名(9,918名)	
小学生	17,208名(18,728名)	
中学生	1,839名(3,518名)	
大人(高校生含)	20,260名(18,778名)	
内：(高校生)	1,205名(1,209名)	
内：(18歳以上)	19,055名(17,569名)	
高齢者	10,244名(9,337名)	
総入館者数	60,109名(60,279名)	

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	44,723,858	44,858,233	44,827,233	45,178,988
	決算	44,723,858	44,858,233	44,827,223	
支出	予算	44,723,858	45,898,720	44,827,233	45,178,988
	決算	45,373,733	44,590,853	44,679,070	
収支	予算	0	-1,040,487	0	0
	決算	-649,875	267,380	148,153	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	A -
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	荒川区立第九中学校等の周辺小中学校から勤労留学を受け入れた。
・区内事業者の活用	消防用設備保守点検を区内業者に委託している。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤1名、非常勤4名、計5名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は2.25%である。
・環境やエコに関する取組	牛乳パックでペン立てを作る工作講座などを実施した。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減の努力も見受けられる。また指定管理者である株式会社大起エンゼルヘルプは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行なっている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	東京都豊島区池袋三丁目1番2号
施設開設年月日	平成24年4月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成24年4月1日	
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日	
業務内容	<p>・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。</p> <p>・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。</p> <p>・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 735.10㎡ 延床面積 2,234.47㎡ (1階501.26㎡ 2階489.11㎡ 3階473.31㎡ 4階506.88㎡ 5階231.79㎡ 6階 32.12㎡)</p> <p>施設内容 1階...事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室・相談室、 2階...学童クラブ室、ブレイルーム、創作室 3階...和室1・2・3、洋室1・2・3 4階...レクホール、多目的室 5階...調理実習室 その他...だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>乳幼児事業は親子で楽しみ他の親子と交流が持てる事業を運営する。また、子育てに関する情報や、地域の情報等を発信していく。</p> <p>児童事業は運動を中心に異なる年齢の子どもたちが楽しく集団遊びができるようにし、情操が豊かになるような支援をしていく。</p> <p>高齢者事業は小台橋ひろば館と宮ノ前ひろば館から継承した経緯があるので、両館からの事業の運営に支障をきたさないよう、円滑な運営をする。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>新設館であるので小台橋ひろば館、宮ノ前ひろば館、尾久ひろば館から事業を引継ぎ、丁寧に運営した。</p> <p>尾久ひろば館で実施していたデイキャンプを継続し好評を得た。その他おばけ屋敷や日常活動も安定した運営が出来た。高齢者事業では2館から引継ぎがあったため、事業数が非常に多かったが、安定した運営が出来た。</p> <p>乳幼児活動では中学生と乳幼児のふれあいをすることが出来た。中学生および高校生は、日常の居場所作りをすることはもちろん、中高生タイムとして来館目的を持って来館出来るように努めた。</p> <p>同じ指定管理者が運営する峡田ふれあい館に続いて、キンボールを事業に取り入れた。児童チームだけでなく成人チームを結成して大会に参加した。</p> <p>ふれあい館祭りで様々な世代間交流を持つきっかけとなったほか、「街なかキネマ」等で児童と高齢者が一緒に楽しめる場を提供出来た。</p>		
<p>世代別入館者数 24年度新設館なので前年度実績なし</p> <p>幼児 12,980名 小学生 22,031名 中学生 1,713名 大人(高校生含) 27,898名 内：高校生 836名 内：18歳以上 27,062名 高齢者 34,762名 総入館者数 99,384名</p>		

施設決算状況

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算		46,845,898	47,842,628
	決算		46,835,813	
支出	予算		46,845,898	47,842,628
	決算		42,198,761	
収支	予算		0	0
	決算		4,637,052	
(備考)				

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	尾久橋町会主催行事に参加し、ブースや出し物等を行った。
・区内事業者の活用	空調設備保守点検等を区内業者に委託している。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤1名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.64%である。
・環境やエコに関する取組	駐輪場など建物外でゴーヤを育て、菜園事業に活用している。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である特定非営利活動法人ワーカーズコープは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目33番31号
指定管理者	名称	株式会社 日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日	平成16年10月12日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成16年10月12日	
指定期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 777.68㎡ 延床面積 1,189.16㎡ (1階415.86㎡ 2階415.86㎡ 3階357.44㎡)</p> <p>施設内容 1階...サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2、事務室 2階...創作室、プレイルーム、学童クラブ室、洋室1・2 3階...多目的室 その他...だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>幼児タイム等の事業を行うとともに、親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境をつくる。また、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を受けることのできる場を設ける。 多くの子供たちが参加できるような、サークル活動や行事を実施し、子供たちの交流を図る。 使用方法を工夫し、遊具をそろえる。 中高生の健全な育成と交流の拠点の場となるよう努める。 中学生の職場体験を積極的に受け入れ、中学生の健全育成に努める。 区民相互の交流と自主的活動の援助を行う。また各種ボランティアによる講座を設立し、文化的生活の向上や余暇の充実が図られるように支援していく。 地域住民が気軽に集えるように昼食時に会議室を開放し、交流支援を行う。</p>		
平成24年度の実績		
<p>ふれあい館の中では汐入・荒木田と並び最古参として、安定した事業運営を行っている。事業実施後に必ず担当者間で反省会を行っている。職員会議においても全職員で総括的な検討を行っている。 歯科衛生士や、心の東京革命による「講話会」を依頼した。小学生のミニコミ誌サークル「ミニコミキッズ」が、荒川車庫や荒川遊園周辺の商店などを取材し、地域について知り、交流の機会を設けた。 高齢者の「レクダンス」で、同じ指定管理者が運営する南千住駅前ふれあい館のスポーツサークルと交流会を行った。どちらも、利用者の意欲の向上に繋がった。また、職員間で指導方法等を話し合う機会にもなった。両館で共通課題を設定したことにより、目的意識を持って参加してもらうことができ、利用者も増加した。 施設内で野菜作りを行っている。水やり等を積極的に取り組んでもらうことができた。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年入館者数	
幼児	10,557名(10,226名)	
小学生	11,678名(15,725名)	
中学生	3,215名(2,987名)	
大人(高校生含)	13,634名(12,602名)	
内:(高校生)	778名(554名)	
内:(18歳以上)	12,856名(12,048名)	
高齢者	11,650名(11,659名)	
総入館者数	50,734名(53,100名)	

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	44,756,378	44,699,935	44,646,935	45,022,522
	決算	44,756,378	44,699,935	44,646,935	
支出	予算	44,756,378	44,699,935	44,646,935	45,022,522
	決算	37,099,446	37,217,947	42,469,788	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	7,656,932	7,481,988	2,177,147	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	町会・民生委員・更生保護女性会等を交え運営協議会を年2回開催している。
・区内事業者の活用	消防用設備保守点検・電気設備保守点検を区内業者に委託している。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤2名、非常勤2名、計4名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用無し。
・環境やエコに関する取組	牛乳パックやペットボトルキャップ、新聞紙等を使ったエコ工作を取り入れた。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社日本デイケアセンターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人 道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日	平成17年4月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成17年4月1日	
指定期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 5,814.86㎡ 延床面積 1,176.87㎡ (1階573.65㎡ 2階603.22㎡) 施設内容 1階…サロン、和室1・2、洋室1・2、音楽室、事務室 2階…創作室、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、学童クラブ室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>親子参加型行事、季節を意識した行事の拡充を図り、子育てサークル活動の支援を図る。 児童が安心して利用できる環境を整備し、社会性や集団活動でのきまり、異年齢との交流を深める事業を計画する。 中高生が利用しやすく、興味をひく事業を展開し、利用者の拡大を図る。 高齢者の仲間作りや生きがいの創出を支援し、世代間交流をはじめとした、ふれあい等を促進する。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>基本方針に従って、PDCAサイクルを活かした事業実践を行った。従来の事業内容の見直し、充実を図った。利用者の満足度・充実度を測りつつ、実施可能な事業に積極的に取り組んだ。 利用者からの意見や第三者からの指摘等にも柔軟に対応し、利用者ニーズを意識した様々な事業・行事を実施した。来館者への挨拶・声掛け・案内を丁寧に行った。より過ごしやすいくふれあい館を目指して、授乳スペースの設置等の館内環境の整備・改善を行った。 震災の経験を活かした避難訓練を継続して実施した。地域との連携を強化し、災害対策に努めた。 平成24年11月27日に、施設3階の都営住宅部分で火災が発生し、その影響で一時期閉館を余儀なくされた。現在でも一部施設は修繕中だが、地域住民や従来利用者との信頼関係のもと、順調に来館者数は戻って来ている。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年の実績	
幼児	10,883名(10,468名)	
小学生	16,670名(21,589名)	
中学生	585名(557名)	
大人(高校生含)	12,380名(11,492名)	
内:(高校生)	122名(240名)	
内:(18歳以上)	12,258名(11,252名)	
高齢者	6,416名(6,954名)	
総入館者数	46,934名(51,060名)	

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	44,413,118	44,654,238	44,568,238	44,832,264
	決算	44,413,118	44,654,238	44,467,843	
支出	予算	44,413,118	44,654,238	44,568,238	44,832,264
	決算	44,294,228	44,512,129	44,434,638	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	118,890	142,109	33,205	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	B +
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	地域の町会やボランティアの協力を得て行事を実施した。
・区内事業者の活用	床清掃、ピアノ調律等を区内事業者に委託した。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤2名、非常勤2名、計4名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用無し。
・環境やエコに関する取組	蛍光灯の間引き点灯、エアコンの温度設定の配慮等を行った。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である学校法人道灌山学園は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行なっている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務面は良好であった。一方、労務面について一部課題があるが、改善の見込みがあり、全体として、指定管理者業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人 道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日	平成20年4月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成20年4月1日	
指定期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 776.20㎡ 延床面積 1,261.63㎡ (1階424.76㎡ 2階415.35㎡ 3階401.63㎡ 屋上 19.89㎡)</p> <p>施設内容 1階...サロン、和室1・2、事務室 2階...創作室、プレイルーム(親子ふれいひろば)、洋室1・2、音楽室 3階...多目的室 その他...だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、壁面緑化パネル</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>親子参加型行事、季節を意識した行事の拡充を図り、乳幼児とその保護者の交流を促進し、子育て支援サークル活動の支援を図る。 児童が安心して利用できる環境を整備し、行事等では実行委員を決め社会性や集団活動の決まりを指導する。また、区や地域の行事に参加し、さまざまな人たちとの交流を深める。 館の特性を生かした事業を展開し、中高生が利用しやすい環境を整え利用者の拡大を図る。 世代間交流をはじめとした行事・施設交流などを通し、出会いやふれあいをを促進し、高齢者の仲間作りを支援する。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場を提供できた。 ふれあい館の役割や活動を、区民や地域住民に周知・理解してもらうため、館行事等への参加を促した。 地域住民や自治会等との交流を積極的に行い、総会等での貸室利用を促進するといった地域イベントへの参加・協力も行った。 区が実施する事業に、場を提供したり、参加するなど協力を行った。日暮里地域演芸会では舞踊やダンス等の発表、カラオケや詩吟等の発表に参加した。日暮里夕やけ文化祭では作品展、ダンス発表、成人や高齢者との交流会に参加した。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年入館者数</p> <p>幼児 17,391名(18,510名) 小学生 10,244名(9,267名) 中学生 1,409名(1,015名) 大人(高校生含) 20,995名(21,311名) 内:(高校生) 81名(132名) 内:(18歳以上) 20,914名(21,179名) 高齢者 7,899名(7,131名) 総入館者数 57,938名(50,103名)</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	44,378,746	44,502,843	44,467,843	44,706,721
	決算	44,378,746	44,502,843	44,467,843	
支出	予算	44,378,746	44,502,843	44,467,843	44,706,721
	決算	43,828,604	44,081,423	44,434,638	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	550,142	421,420	33,205	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	B +
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	地域の町会との協力関係の向上に努めた。西日暮里保育園と連携した事業を実施した。
・区内事業者の活用	床清掃、ピアノ調律に区内事業者を活用した。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤2名、非常勤5名、計7名の区内職員を雇用している。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用無し。
・環境やエコに関する取組	蛍光灯の間引き点灯、エアコンの温度設定の配慮等を行った。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面については、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である学校法人道灌山学園は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行なっている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務面は良好であった。一方、労務面について一部課題があるが、改善の見込みがあり、全体として、指定管理者業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署 **部** 区民生活部 **課** 地域振興課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	東日暮里三丁目ひろば館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目8番16号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	東京都北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成18年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>東日暮里三丁目ひろば館の貸室貸出業務及び施設管理業務を行う。</p> <p>敷地面積 1,010.54㎡ 延床面積 913.66㎡ 施設内容 1階...事務室 101洋室 3階...301洋室、302和室、多目的室 その他...男女トイレ、給湯室</p> <p>1階事務室は東日暮里在宅高齢者サービスセンターと併用</p>	
平成24年度の事業計画		
<p>・東日暮里三丁目ひろば館の下記施設の貸出及び管理を行う。</p> <p>1階-洋室 3階-洋室、和室、多目的ホール</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>・東日暮里三丁目ひろば館の下記施設の貸出及び管理を行った。</p> <p>1階-洋室 3階-洋室、和室、多目的ホール</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	9,853,000	10,158,000	10,711,000	
	決算	10,574,862	9,754,441	10,332,390	
支出	予算	9,666,000	10,158,000	11,030,000	
	決算	10,574,737	9,925,023	10,651,725	
収支	予算	187,000	0	-319,000	0
	決算	125	-170,582	-319,335	

(備考)

東日暮里三丁目ひろば館は、近隣に夕やけこやけふれあい館が平成25年4月1日に開館し、それに伴って平成25年3月31日をもって閉館し、指定管理を終了した。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理、苦情、事故等への対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
・地域との協働内容	101洋室、301洋室、302和室、多目的室の貸室業務を適切に実施した。
・区内事業者の活用	消耗品の購入や、点検業務の委託等に積極的に区内業者を活用している。
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、区内職員雇用無し。
・障害者雇用率	平成24年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は0.97%である。
・環境やエコに関する取組	環境やエコに関する意識が高く、節電に努めている。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

貸室業務については、各部屋の清掃や点検を十分行い、気持ち良く利用できるよう心がけている。

[財務・労務面の評価]

財務面については、会計手続や予算管理は概ね適正である。また指定管理者である東京都福祉事業協会の法人決算書は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養100名 ショートステイ10名</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：目標稼働率94%、ショートステイ：目標稼働率120% ・日常の健康管理やインフルエンザなどの感染症対策を徹底することで入院日数の削減を図る。また、入居待機者の事前面接を早期に行うなどして、空籍発生から入居までの期間を10日以内とすることを目標としてスムーズな入居に努めるとともに、受け入れ先のフロア状況を確認しつつ、ショートステイの空床を積極的に活用する。 ・ショートステイの新規利用者の目標は48人とする。また、家族交流会を実施し、家族間およびフロア職員との交流の場を設ける。 ・法人研修、施設内研修、外部研修を組み合わせたキャリアマップをもとに計画的な人材育成を進める。 ・法人運営理念をもとに質の高いリハビリテーションの提供を実現し、利用者及び介護者等の生活の質を高め、気持ち安らぐ豊かな毎日を過ごすことが出来るようにする。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：稼働率91.0% 平均介護度4.0、ショートステイ：稼働率110.2% 平均介護度3.0 ・ショートステイの新規利用者は41名となった。 ・計画的な人材育成については年度計画に沿って実施することができた。 ・効率的で且つ効果的なリハビリテーションサービスの提供を随時行えるようにリハビリテーションサービスを含む施設サービスの分析と評価を行い、現況サービスにおける問題点の抽出を実施した。 ・医師や家族の協力の下、介護職や看護職が連携し援助にあたり、6名の方を看取ることができた。今後、より良い看取り介護の提供に向けて、体制やマニュアル見直しを図っていく。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	460,814,000	463,477,000	463,401,000	460,554,000
	決算	464,914,052	456,473,547	448,071,512	
支出	予算	457,214,000	457,877,000	457,441,000	457,594,000
	決算	460,677,278	447,356,489	442,081,960	
収支	予算	3,600,000	5,600,000	5,960,000	2,960,000
	決算	4,236,774	9,117,058	5,989,552	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公開行事「みなこい祭り」について、地域のイベントとの重複を避け、11月に開催にすることでより参加しやすい催しとした。 ・毎月1回保育園との交流を行っている。 ・ボランティア延べ1,300人、実習生等延べ36人、職場体験8人を受け入れた。 ・夜間管理当直を区内事業者に委託している。 ・区民雇用率(当該施設)37.6%、障害者雇用率(法人全体)2.14%

総評

[サービス面の評価]

・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・開設から24年が経った施設の設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・施設は従来型多床室であるが、利用者十数名をひとつのまとまり(ユニット)として、質の高い介護を提供する、ユニット的ケアを取り入れており、利用者にとってより良いサービスが提供できていると評価できる。

・電気料値上げに際し、迅速にPPS(特定規模電気事業者)への契約に切り替えるなど、経費縮減に努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>	
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率85% ・利用者の個別的な生活への支援効果、質的な効果を考えて取り組みを行うため、自立支援にこだわったサービス提供、特にリハビリに力を入れる。 ・機能訓練について、理学療法士を中心に看護師・介護職が協働して生活に密着した訓練を実施、利用者の重度化の予防及び日常生活活性化などを目指した心身機能の維持・向上を図る。 ・3ヶ月ごとの体力測定を行い、目標設定・評価を本人も含めた話し合いで行い、リハビリに対する意欲と楽しみを引き出す機能訓練を行い、運動を通して機能向上だけではなく、生きがいをみつけて自分らしい生活を送るためのサポートをしていく。 		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率82.1% 平均介護度1.96 ・機能訓練については3～4ヶ月間隔で体力測定を実施、担当職員・理学療法士と結果を見て、次の目標を確認し合うことで、利用者のリハビリ意欲の維持・向上を図り、効果を実感できるようにした。 ・食事は事前面接時にアセスメントをしっかりと行い、形態、好き嫌い等に対応した。特に誤嚥には注意し、食事前の嚥下体操の必要性を説明し実施した。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	102,025,000	103,130,000	94,050,000	95,072,000
	決算	102,748,163	101,184,017	94,308,647	
支出	予算	101,701,000	100,806,000	98,810,000	90,632,000
	決算	101,317,370	98,773,249	96,712,791	
収支	予算	324,000	2,324,000	-4,760,000	4,440,000
	決算	1,430,793	2,410,768	-2,404,144	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公開行事「みなこい祭り」について、地域のイベントとの重複を避け、11月に開催することでより参加しやすい催しとした。 ・毎月1回保育園との交流のほか、お互いの行事への参加を行っている。 ・各種行事に地域のボランティアに参加してもらった。 ・来食サービス(延べ利用数318人)、お元気ランチ(延べ利用数279人)を実施した。 ・夜間管理当直を区内事業者に委託している。 ・区民雇用率(当該施設)56.5%、障害者雇用率(法人全体)2.14%

総評

[サービス面の評価]

・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・開設から24年が経った施設の設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・定期的に体力測定を行いリハビリの効果を検証し、利用者の意欲の維持、向上を図っており、利用者から好評を得ている。

・電気料値上げに際し、迅速にPPS(特定規模電気事業者)への契約に切り替えるなど、経費縮減に努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス、労務面は良好であった。一方で財務面は、施設決算の視点において、平成24年度収支がマイナスであったが、経費の縮減努力が行われており、かつ、法人決算は良好であったことから、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住3-14-17
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 特養56名 ショートステイ12名</p>	
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養:目標稼働率94%、ショートステイ:目標稼働率110% ・特養の新規入所者の迅速な確保と入院者の減少にむけた取り組みを進めていく。 ・ショートステイでは、新規及び緊急性の高い利用者などへの柔軟な対応で、新たなリピーター確保を進める。 ・利用者様の意思や人格を尊重し、心身の状況等に応じて適切な介護サービスを提供するとともに、自らその提供するサービスの質の評価を行うことにより常にサービスを受ける方の立場に立った施設介護事業を実施する。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養:稼働率93.4% 平均介護度4.0、ショートステイ:稼働率98.0% 平均介護度3.2 ・特養は新規入所の方は、本人及び家族の意向を聞き、1～2週間の集中観察を行った上で会議にて各職種で検討し、作成したケアプランを回覧、介護経過や申し送りを中心に情報の共有を行い、利用者のQOL（生活の質）の向上及び生きがい支援に努めたことにより目標を達成することができた。 ・ショートステイの稼働率が減少した原因は、ショート利用者の死亡と施設入居が当初見積もっていた数より増加したことである。 ・ショートステイについて、通年で行っている居室内の備品整備に加え、ベッドや採光の方向、送迎時間など利用者の状況に基づいた個別的なサービスを提供。利用者の家族から離れる不安の緩和、建物の構造の違いによる戸惑いの軽減に努めた。また、介護者の急用時については、新規利用者を含め迅速な受入れ対応に努めた。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	279,019,000	285,731,000	284,580,000	294,997,000
	決算	281,655,157	289,907,948	285,629,751	
支出	予算	262,834,000	269,333,000	264,565,000	286,885,000
	決算	268,942,643	277,492,632	285,980,038	
収支	予算	16,185,000	16,398,000	20,015,000	8,112,000
	決算	12,712,514	12,415,316	-350,287	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A -
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンハイム荒川全体で、ボランティア延べ205人、勤労留学生延べ5人、実習生延べ6人を受け入れた。 ・保育園交流を7月と9月に実施。他に潤徳女子高校との交流(ボランティア、施設見学)を実施した。 ・敬老祭、納涼祭などの大きな行事の際は、地域の町会長をはじめ婦人部、青年部と連携して実施した。 ・給食について、肉・パンを区内事業者から調達している。また、有料及び無料理髪について区内事業者を活用している。 ・区民雇用率(当該施設)19.3%、障害者雇用率(法人全体)1.2%

総評

[サービス面の評価]

・開設から18年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・主な食材を区内事業者から調達し、四季折々の趣向を凝らした栄養バランスの良い行事食を提供するなどして好評であった。また、毎月栄養士と、委託している給食会社の担当者、および各部署の担当で委員会を開催し、より良い食事が提供できるよう努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

労務面、財務面は良好であった。一方でサービス面は利用者意見の視点において、平成22年度福祉サービス第三者評価の総合的な満足度は55%であったが、平成24年度に施設にて実施したアンケートでは74.4%が良い環境と回答したことから、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署 部 福祉部 課 福祉推進課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住3-14-17
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ) 35名 認知症対応型通所介護(認知デイ) 12名 * 各々介護予防含む</p>	
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:目標稼働率85%、認知デイ:目標稼働率64% ・利用者一人一人のペースや心身の状態に合わせた活動を提供することで、利用者の満足感や達成感を高める。 ・定期通院や外出等で事前に欠席が予定されている時は、利用日を変更するなどの振替利用を前向きに働きかけて、利用率の向上に結びつくよう努める。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:稼働率71.4% 平均介護度2.7、認知デイ:稼働率42.0% 平均介護度3.6 ・月曜日～土曜日までの毎日午前に機能訓練指導員を中心に、介護職、看護職、相談職が協力して、一般デイ72%、認知デイ8%、介護予防99%の方が「持久力の向上」「筋力の向上」「疼痛の緩和」等を目的とした個別機能訓練を実施した。また、毎日昼食前の30分程度「嚥下体操」を実施したことで、誤嚥事故等の発生を防止することができた。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	93,391,000	94,564,000	97,719,000	98,045,000
	決算	94,869,133	100,624,463	98,886,991	
支出	予算	88,311,000	86,638,000	89,525,000	88,003,000
	決算	97,874,866	92,905,033	99,167,844	
収支	予算	5,080,000	7,926,000	8,194,000	10,042,000
	決算	-3,005,733	7,719,430	-280,853	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンハイム荒川全体で、ボランティア延べ205人、勤労留学生延べ5人、実習生延べ6人を受け入れた。 ・保育園交流を7月と9月に実施。他に潤徳女子高校との交流(ボランティア、施設見学)を実施した。 ・敬老祭、納涼祭などの大きな行事の際は、地域の町会長をはじめ婦人部、青年部と連携して実施した。 ・給食について、肉・パンを区内事業者から調達している。また、有料及び無料理髪について区内事業者を活用している。 ・区民雇用率(当該施設)28.6%、障害者雇用率(法人全体)1.2%

総評

[サービス面の評価]

・開設から18年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・主な食材を区内事業者から調達し、四季折々の趣向を凝らした栄養バランスの良い行事食を提供するなどして好評であった。また、毎月栄養士と、委託している給食会社の担当者、および各部署の担当で委員会を開催し、より良い食事が提供できるよう努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養50名 ショートステイ6名</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：目標稼働率100%、ショートステイ：目標稼働率100% ・職員の人材育成と介護保険下における新しい施設づくりに努め、職員が明るく活気ある雰囲気の中で、充実した介護サービスが提供できるよう取り組む ・地域における介護ニーズを常に把握し、介護の拠点としての役割をさらに充実させるとともに、お元気ランチ等の介護予防事業を引き続き行い、在宅高齢者の援助を行う。 ・近隣町会と組織する「やまぶき会」の活動を中心に、防災協定をはじめ、人と人との協力し合い、安心して生活できる地域づくりに努める。 ・経営状況を十分に把握し、利用率の向上、経費の節約に努める。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：稼働率98.0% 平均介護度4.2、ショートステイ：稼働率78.0% 平均介護度3.4 ・ショートステイは空調の全面更新工事のため、10月のショートステイを休止したため、平均稼働率が低下した。 ・フロアごとを1つの生活単位としたフロアユニット制の特色を生かし、フロアの環境整備や、利用者の状態に応じた生活、レクリエーションに取り組んだ。 ・身体拘束廃止に向けた取り組みと合わせて虐待防止に関する研修等に取り組む、権利擁護に取り組んできた。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	246,065,000	254,820,000	249,701,000	255,220,000
	決算	251,633,606	247,236,595	252,340,916	
支出	予算	238,060,000	253,244,000	248,113,000	250,560,000
	決算	247,308,494	246,304,245	239,575,467	
収支	予算	8,005,000	1,576,000	1,588,000	4,660,000
	決算	4,325,112	932,350	12,765,449	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回歌の会を開催し、懐かしい歌を地域の方と一緒に楽しんだ。(参加人数35名) ・やまぶき会と荒川社協との協力により閉じこもりがちな高齢者のための喫茶を開催した。 ・ボランティアの受け入れを行った。(延人数190名) ・建物等設備保守管理、エアコン保守管理、自家用電気工作物保守管理、消防設備等点検について区内事業者と契約を行っている。また、給食について、パン・肉を区内事業者に委託している。 ・区民雇用率(当該施設)40.5%、障害者雇用率(法人全体)3.30%

総評

[サービス面の評価]

- ・近隣9町会から構成される「やまぶき会」を中心に、地域に根ざした施設として、高齢者のための喫茶や、多目的ホールの貸し出しを行うなど、地域活動の拠点となっている。
- ・動物介在療法が活発に行われており、利用者からも好評である。
- ・空調設備の全面更新に際し、運営しながらの工事であったが、利用者の安全を第一に、区や施工会社と連携を密にしながら、事故なく完了することが出来た。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 *各々介護予防含む</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率75%、認知デイ：目標稼働率60% ・介護予防通所介護においては、利用者の生活の基本は居宅であることをふまえ、要介護状態とならないようにするため、日々の活動に目標を設定して、サービス提供を行う。 ・通所介護においては、利用者の重度化・高度化をふまえて、個々のできる能力に着目し、今以上の悪化を防止すべく、また可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るように支援を行う。 ・認知症対応型通所介護においては、認知症であっても可能なかぎりその地域の中で自立した日常生活を営むことができるよう支援する。また、認知症症状の理解を深め、疾患に配慮した活動が個々の状態に合わせて出来るよう支援を行う。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率60.0% 平均介護度2.3、認知デイ：稼働率31.0% 平均介護度3.7 ・介護予防通所介護において、平成24年度から開催されるようになった地域ケア会議を踏まえ、具体的な計画に基づき予防を重視したサービス提供に努めた。 ・通所介護においては、「個別機能訓練加算」を算定して、機能訓練計画に基づき、サービスの提供を行った。また、介護に関する相談や家族の支援にも力を入れ、スムーズなサービス利用ができるよう支援を行った。 ・認知症対応型通所介護においては、機能訓練を軸にしたサービスを提供するとともに、利用者の特性に応じた支援を展開した。また、利用者の重度化に対応できる職員配置の体制作りや家族の介護相談等も積極的に行った。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	113,047,000	111,796,000	103,879,000	87,362,000
	決算	109,997,509	100,980,829	73,889,368	
支出	予算	97,744,000	111,296,000	101,507,000	86,762,000
	決算	103,910,770	102,138,716	91,541,745	
収支	予算	15,303,000	500,000	2,372,000	600,000
	決算	6,086,739	-1,157,887	-17,652,377	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回歌の会を開催し、懐かしい歌を地域の方と一緒に楽しんだ。(参加人数35名) ・やまぶき会と荒川社協との協力により閉じこもりがちな高齢者のための喫茶を開催した。 ・ボランティアの受け入れを行った。(延人数190名) ・建物等設備保守管理、エアコン保守管理、自家用電気工作物保守管理、消防設備等点検について区内事業者と契約を行っている。また、給食について、パン・肉を区内事業者に委託している。 ・区民雇用率(当該施設)50.0%、障害者雇用率(法人全体)3.30%

総評

[サービス面の評価]

・機能訓練に力を入れており、「事業所評価加算」の算定が認められ、在宅生活に資するサービス提供に努めている。

・近隣9町会から構成される「やまぶき会」を中心に、地域に根ざした施設として、高齢者のための喫茶や、多目的ホールの貸し出しを行うなど、地域活動の拠点となっている。

・空調設備の全面更新に際し、運営しながらの工事であったが、利用者の安全を第一に、区や施工会社と連携を密にしながら、事故なく完了することが出来た。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス、労務面は良好であった。一方で財務面は、施設決算の視点において、平成24年度収支がマイナスであったが、経費の縮減努力が行われており、かつ、法人決算は良好であったことから、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西日暮里5-36-1
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成3年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成3年2月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員)通所介護(一般デイ)40名 *介護予防含む</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:目標稼働率85% ・平成24年4月の介護報酬改定を受け、利用者及び家族にアンケートをとった結果、現状の利用時間で満足との回答が得られたため、ニーズを優先する形で当面は「5時間以上7時間未満」の枠組みでサービスを提供する。また、「7時間以上9時間未満」でのサービス提供を希望する利用者については、適宜相談に応じていく。 ・平成24年5月より常勤の理学療法士を1日配置し、機能訓練加算を行っていく。 ・らくらく楽しく学習をしながら認知症の維持改善を目的とした「くもん学習療法」を希望者に実施していく。 ・実習生の受け入れ、ボランティアの受け入れ、地域交流として保育園との交流、お元気ランチ、脳の健康教室、家族介護者教室、ボランティア感謝祭を行っていく。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:稼働率84.4% 平均介護度2.3 ・目標稼働率を下回った原因としては、利用者の骨折等による入院や死亡等が挙げられる。 ・年度当初は、利用者のニーズを優先する形で、「5時間以上7時間未満」の枠組みで行っていたが、利用者及び家族より「7時間以上9時間未満」の利用希望が増えたため、プログラムの再検討を行ない実施した。 ・利用者が選べるプログラム活動(レクリエーション・スポーツ、手工芸、文化的活動、音楽活動、小外出等)を実施し好評を得た。 ・認知症キャラバンメイトに全職員が参加し認知症への理解を深めた。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	102,657,000	101,837,000	102,662,000	101,837,000
	決算	110,059,281	100,305,837	96,115,506	
支出	予算	95,064,000	99,712,000	101,797,000	100,123,000
	決算	96,808,584	99,292,677	105,149,978	
収支	予算	7,593,000	2,125,000	865,000	1,714,000
	決算	13,250,697	1,013,160	-9,034,472	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・「お元気ランチ」を従来の週1回(水曜日)、定員13名の実施に加え、7月以降は金曜日、定員8名を拡大して実施した。 ・65歳以上の荒川区民を対象に「脳の健康教室」を週1回(6ヶ月間)地域の学習ボランティア中心で実施した。 ・保育園交流(月1回)、納涼祭、敬老会を実施した。 ・清掃、空調設備点検、水質検査について区内事業者を活用している。 ・区民雇用率(当該施設)70.8%、障害者雇用率(法人全体)2.14%

総評

[サービス面の評価]

・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・筋力トレーニング、くもん学習療法、口腔・爪ケア、家族介護者教室などのサービスメニューが充実している。

・法人内での集中調理システムの導入や、電気料値上げに際し、迅速にPPS(特定規模電気事業者)への契約に切り替えるなど、経費縮減に努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス、労務面は良好であった。一方で財務面は、施設決算の視点において、平成24年度収支がマイナスであったが、法人決算は良好であったことから、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋7 2 15
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4 - 39 - 10
施設開設年月日		平成5年3月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成5年3月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ) 40名 * 介護予防含む</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ: 目標稼働率85% ・常勤理学療法士を中心に機能訓練計画をたて、計画に基づき看護師・相談員・介護職が協働し、利用者が意欲的に機能訓練を実施できるように援助する。 ・体温・血圧・脈拍の測定、身体状況の観察を実施。体調不良の利用者に対しては、主治医や家族と連絡を取り、必要に応じて早期受診を勧める。また、連絡ノートを活用し、家族や他サービス事業者・主治医との情報交換に役立てる。 ・心身機能に応じた食事・入浴・排泄・着替えなど日常生活の基本動作訓練を活動に組み入れる。そして機能訓練指導員を中心に介護計画に基づいた生活機能の維持・改善に向けた訓練を実施する。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ: 稼働率81.6% 平均介護度2.1 ・機能訓練の充実したデイサービスとして家族、居宅事業所、地域包括センターから評価を受け、新規の申込み及び見学希望が多数あった。 ・地域高齢者、家族が気軽に安心して利用できる施設としてころばん体操、セラバン体操、お菓子作り教室、絵手紙教室、お元気ランチ、脳の健康教室等を積極的に行った。参加を通じて、相談やその必要性に応じてサービスを提供する機会にもなった。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	110,859,000	113,652,000	108,876,000	107,995,000
	決算	113,544,783	114,219,683	100,044,979	
支出	予算	106,198,000	105,355,000	105,936,000	104,789,000
	決算	103,649,207	113,007,490	98,211,541	
収支	予算	4,661,000	8,297,000	2,940,000	3,206,000
	決算	9,895,576	1,212,193	1,833,438	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生及びボランティア等として、延べ241名を受け入れた。 ・地域交流のコミュニティの育成の一助として、談話室の無料貸し出しを実施している。 ・清掃の一部について区内事業者を活用している。 ・区民雇用率(当該施設)41.7%、障害者雇用率(法人全体)2.14%

総評

[サービス面の評価]

- ・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。
- ・機能訓練が充実した施設を目指しており、常勤の理学療法士も配置されるなど、力を入れて取り組んでいる。
- ・法人内での集中調理システムの導入など、経費の縮減に努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住4-9-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成12年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ) 30名 * 介護予防含む</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ: 目標稼働率85% ・今年度実施される制度改正は経営的に非常に厳しい状況が想定されるが、年度当初は、サービス提供時間「5時間以上7時間未満」で開始し、制度の詳細や収支を見据え「7時間以上9時間未満」への変更や加算の追加算定を検討し、安定した経営を目指していく。また、業務改善や経費削減に努め、ケアマネ事業所や地域の方へのPR等を強化する。 ・利用者の個人ニーズにあったサービス提供に努め、職員間の連絡を密にしながら、利用者一人ひとりが安心して楽しく利用できるセンターを目指す。 ・今年度より、機能訓練内容の充実を図るため、常勤の理学療法士を採用し、個別機能訓練計画書を作成し、利用者一人ひとりの心身の状況に応じた訓練を行い、利用者にあった「楽しい機能訓練」を実施する。 		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ: 稼働率79.2% 平均介護度2.3 ・前年比4.6%減の結果となった。これは、年度末に入院者が増えたことや、体調不良等での休みが増えたことが主な原因と考えられる。 ・今年度から理学療法士を一日配置とし、セラバンド・棒・ボール等を使用しながらのリハビリ体操、音楽に合わせた体操等「楽しくできる機能訓練」を目標に行った。また、リハビリ器具(起立台・平行棒・プーリー・エアロバイク等)を使用しながら個々の利用者の身体機能の低下防止、維持向上に努めた。午後についても機能訓練を実施したことで、利用者からは大変喜ばれた。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	77,701,000	75,142,000	76,089,000	73,538,000
	決算	75,357,986	77,923,017	67,268,423	
支出	予算	73,413,000	72,828,000	74,922,000	72,158,000
	決算	69,165,249	70,446,197	70,454,983	
収支	予算	4,288,000	2,314,000	1,167,000	1,380,000
	決算	6,192,737	7,476,820	-3,186,560	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園との交流会(年3回)、小学生との交流会(年2回)や小・中学生の体験実習の受け入れ(年3回)を行った。 ・年間延べ140人のボランティア及び延べ151人の実習生を受け入れた。 ・お元気ランチを実施した(延べ人数364人)。 ・清掃、空調設備点検は区内事業者を活用した。 ・区民雇用率(当該施設)64.7%、障害者雇用率(法人全体)2.14%

総評

[サービス面の評価]

・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・開設から13年経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・常勤の理学療法士による楽しくできる機能訓練や入浴、送迎サービスを見直し、充実したものとなっている。

・法人内での集中調理システムの導入や、電気料値上げに際し、迅速にPPS(特定規模電気事業者)への契約に切り替えるなど、経費縮減に努めている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス、労務面は良好であった。一方で財務面は、施設決算の視点において、平成24年度収支がマイナスであったが、経費の縮減努力が行われており、かつ、法人決算は良好であったことから、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里3-18-16
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子2-19-21
施設開設年月日		平成6年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年11月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ)40名 認知症対応型通所介護(認知デイ)12名 * 各々介護予防含む</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:目標稼働率80%、認知デイ:目標稼働率80% ・要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な介護サービスを提供し、高齢者介護の充実、自立生活の援助、心身機能の維持向上を図る。 <p>また、24年4月の介護保険法の一部改正に伴い、各サービスの報酬や基準の見直しが行われたところであり、介護従事者等の人材確保・処遇改善等を行い、効率的なサービスの提供や新たなサービスの提供に努めていく。</p> <p>併せて介護保険の基本理念である「自立支援」を実現し、家族等に対する身体的、精神的苦勞の軽減と地域福祉の増進を図る。</p>		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:稼働率70.0% 平均介護度2.1、認知デイ:稼働率57.5% 平均介護度4.1 ・要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な介護サービスを提供し、自立生活の援助、心身機能の維持向上を図るよう努めた。 <p>通院等で朝の準備ができないため当センターを欠席予定とした利用者に対し、可能な限り個別に送迎を行うなど柔軟な対応に努めた。</p> <p>介護サービスだけではなく、通所したくなり、いることが楽しく帰りたくない施設を目指し、書道教室、コンサート、読み聞かせの会などのイベントを充実させている他、今年度はカラオケ機器を最新のものに更新し、楽しい施設運営に努めた。</p>		

施設決算状況

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	135,202,000	140,758,000	145,692,000
	決算	143,594,019	139,558,415	121,212,754
支出	予算	132,123,000	136,076,000	135,787,000
	決算	139,042,203	127,112,715	126,227,750
収支	予算	3,079,000	4,682,000	9,905,000
	決算	4,551,816	12,445,700	-5,014,996
(備考)				

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A -
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の学校等との積極的な交流を図るとともに、区立中学校生徒の「勤労留学」の受け入れを本年度も引き続き実施した。ボランティアや実習生を積極的に受け入れ、実習の場として提供するとともに、施設行事への受け入れも積極的に推進した。 また、施設公開行事「第6回東日暮里ふれあい祭り・寄っといデー」を11月に開催した他、敬老会、書道教室、音楽会等の、家族や地域の方が気軽に参加しやすい交流イベントを実施した。 ・調理は直営であり、肉・魚・野菜・米とも区内事業者から調達しており、評価できる。 ・区民雇用率(当該施設)57.1%、障害者雇用率(法人全体)1.2%

総評

[サービス面の評価]

・開設から19年経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・バイキング方式など魅力ある食の提供に努めるとともに、家族介護者教室にて試食会を実施し、食事サービスの充実を図っている。また、調理は直営で、食材を区内事業者から調達していることも評価できる。

・書道の先生、放送劇団による読み聞かせ、フラダンス教室による実演、ギター、ピアノ、コーラスなどの各種音楽家など、地域の方々からの多種多様な協力が存在し、充実した楽しいプログラムを実施できている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス、労務面は良好であった。一方で財務面は、施設決算の視点において、平成24年度収支がマイナスであったが、経費の縮減努力が行われており、かつ、法人決算は良好であったことから、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年12月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ) 35名 認知症対応型通所介護(認知デイ) 10名 * 各々介護予防含む</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:目標稼働率85%、認知デイ:目標稼働率75% ・自立した日常生活を営むことができるように個別機能訓練の実施及び必要な日常生活上の介護や自立支援を行う。社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、また利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。 ・介護度の高い高齢者や複雑な問題を抱える高齢者家族など、他の施設では受け入れできなかった困難ケースなどを行政機関や関係機関などと連携しながら積極的に受け入れていく。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:稼働率72.1% 平均介護度2.0、認知デイ:稼働率54.2% 平均介護度3.1 ・入浴は希望者のみに実施しているが、現在の登録者のほとんどが希望している状況である。23年度までは、月・水・木・金・土の週5日間実施であったが、24年度から祝日のある週及び夏場の火曜日の入浴を実施した。 ・介護保険法の改正により7時間以上9時間未満の時間延長サービスの提供を開始し、活動プログラムの見直しを行った。 ・機能訓練指導員の常勤化及び機材導入を行ったことにより以前より積極的に訓練に取り組む利用者が増加した。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	106,791,000	112,119,100	115,895,000	112,302,000
	決算	107,062,503	106,671,013	105,114,753	
支出	予算	106,791,000	112,119,100	115,895,000	112,302,000
	決算	91,391,681	98,328,156	94,682,883	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	15,670,822	8,342,857	10,431,870	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスセンターを地域の方々に知ってもらうために、地域住民・利用者家族・保育園児を見学会や行事に招待し交流を図った。 ・毎月「お楽しみ体操」と「歌声喫茶」実施し、地域の方々や利用者家族が参加できる機会を提供。 ・企業の新任研修のボランティア体験を3名、小中学生や大学生、社会人を対象としたサマーボランティアを6名、いきいきボランティアを2名、区内中学校の職場体験を13名、理容ボランティアを月2回受け入れた。 ・学校教諭免許取得希望者の介護等体験を12名受け入れた。 ・区内事業者から食材の一部を調達している。 ・区民雇用率(当該施設)75.0%、障害者雇用率(法人全体)2.02%

総評

[サービス面の評価]

・開設から19年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・23年度までは、月・水・木・金・土の週5日間実施であった入浴を24年度から祝日のある週及び夏場の火曜日にも実施し利用者へのサービスを向上させている。

・ふれあいいきいきサロンの開催など、社会福祉協議会の事業との連携を図っている。

・サマーボランティアスクールに代表されるボランティアの受け入れを積極的に行っていることは施設の特徴として評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西尾久6-17-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成7年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ) 35名 認知症対応型通所介護(認知デイ) 10名 * 各々介護予防含む</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:目標稼働率85%、認知デイ:目標稼働率75% ・自立した日常生活を営むことができるように個別機能訓練の実施及び必要な日常生活上の介護や自立支援を行う。社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、また利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。 ・介護度の重い高齢者や複雑な問題を抱える高齢者家族など、他の施設では受け入れできなかった方を行政機関や関係機関などと連携しながら積極的に受け入れていく。 ・知的障がい者通所施設「尾久生活実習所」との併設であること、また、行政や各種機関等と連携を持つ社会福祉協議会の事業や機能を十分に活用し、広範な問題に対処していく。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:稼働率73.4% 平均介護度2.2、認知デイ:稼働率29.0% 平均介護度3.8 ・入浴は希望者のみに実施しているが、現在の登録者のほとんどが希望している状況であるため、入浴日を月～土の週6日間実施した。 ・介護保険法の改正により7時間以上9時間未満の時間延長サービスの提供を開始し、活動プログラムの見直しを行った。 ・機能訓練指導員の常勤化及び機材導入を行ったことにより以前より積極的に訓練に取り組む利用者が増加した。 ・社会福祉協議会のふれあいいいきいきサロンへの参加や、併設の「尾久生活実習所」と共同で「やかまし祭」を開催するなど、積極的に交流事業を行った。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	108,022,000	112,204,000	113,649,000	113,649,000
	決算	104,588,577	103,719,832	96,997,702	
支出	予算	108,022,000	112,204,000	113,649,000	113,649,000
	決算	94,026,275	97,026,051	92,194,269	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	10,562,302	6,693,781	4,803,433	
(備考)					

評価項目		評価
1	適切な施設運営・維持管理	A
2	区民サービス・利用者意見	A
3	危機管理・苦情・事故等の対応	A
4	収支状況・縮減努力	A
5	法人決算	A
6	労務	A
7	地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスセンターを地域の方々に知ってもらうために、地域住民・利用者家族・保育園児を見学会や行事に招待し交流を図った。 ・社会福祉協議会が地域住民共同事業として実施している「ふれあいいいきいきサロン」に職員が出向き、介護情報の提供やミニレクリエーションを提供した。 ・企業の新任研修のボランティア体験を6名、小中学生や大学生、社会人を対象としたサマーボランティアを1名、いきいきボランティアを3名、区内中学校の職場体験を6名、傾聴ボランティアを月1回受け入れた。 ・学校教諭免許取得希望者の介護等体験を29名受け入れた。 ・区内事業者から食材の一部を調達している。 ・区民雇用率(当該施設)80.0%、障害者雇用率(法人全体)2.02% 	

総評

[サービス面の評価]

・開設から18年経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・入浴を週6日実施し利用者へのサービスを充実させている。

・ふれあいいいきいきサロンの開催など、社会福祉協議会の事業との連携を図っている。

・サマーボランティアスクールに代表されるボランティアの受け入れを積極的に行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川 1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住 1 - 1 3 - 2 0
施設開設年月日		昭和45年12月1日開設
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<p>(1) 事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 <p>(2) 本施設の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務
平成24年度の事業計画		
<p>(1) 健康相談及び生活相談事業 健康相談（嘱託医による健康審査、健康相談員の出張健康相談）、生活相談（生活相談員の出張生活相談）、耳より情報（生活相談員・健康相談員・リハビリ指導員を中心に推進員・用務員の協力を得ながら健康、生活に役立つ情報やより良い生活のワンポイントアドバイスを行う。）</p> <p>(2) 機能訓練事業（脳卒中などによる後遺症がある方や身体機能の低下が認められる要介護認定非該当の方を対象として、毎日の集団訓練を基礎とし、リハビリ指導員による個別指導・訓練（週3回）と健康相談員による機能訓練を行う（週3回））</p> <p>(3) 健康保持・増進事業（週2回入浴サービスを行い、いこい室体操、いきいき体操等の体操を行うことで健康保持・増進に努める。）</p> <p>(4) 文化教養教室・定例事業等（趣味や仲間づくり自主的なサークル活動を奨励するために、教室や各種行事を開催する。）</p> <p>(5) 公開講座（IT講座や着物着付け講習会など区民が関心を持つものを題材に、また季節にあった講座をすることで、広く区民の参加を促せる。）</p>		
平成24年度の実績		
<p>開館日数（297日）利用者総数52,732人（男性25,665人、女性27,067人）</p> <p>(1) 健康相談及び生活相談事業〔嘱託医による健康審査（599人）、健康相談員の指導援助（4,033人）生活相談員の問題解決のための支援（1,868人）〕</p> <p>(2) 機能訓練事業〔毎日の集団訓練を基礎とし、リハビリ指導員による個別指導等を週3回実施した。また、看護師指導による自主訓練を週3回実施した（855人）〕</p> <p>(3) 健康保持・増進事業〔入浴事業週2回（2,958人）いきいき体操（2,086人）ころばん体操（1,355人）〕</p> <p>(4) 文化教養教室・定例事業等〔各種行事（4,073人）定例事業（4,410人）各種教室（5,456人）いこい室事業（11,252人）ひろば館事業（1,664人）〕</p> <p>(5) 公開講座〔デジタルカメラ入門講座（105人）マジック講座（50人）携帯電話講習会（103人）IT講習会（667人）〕</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	65,374,000	61,522,000	62,320,000	63,224,000
	決算	59,217,965	59,800,843	60,255,840	
支出	予算	65,374,000	61,522,000	62,320,000	63,224,000
	決算	59,217,965	59,800,843	60,255,840	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが行っているふれあいサロンを地域に開放している。地域の方をサマーボランティアとして受け入れている。 ・再委託先は区内業者が主で業者が区内に無い時のみ他区にしている。 ・区民雇用率 64.3% ・2.02% (法人全体)

総評

[サービス面の評価]

施設内はきれいに清掃され、設備は利用しやすくなっている。
 教室や行事等も各種あり、教室や公開講座参加者のアンケート結果を次の運営に反映させるなど努めており、利用者の評価も高い。
 また、利用者は、各事業を通して仲間づくりや人との関わりやふれあいを求めており、職員の接する態度や親切が利用者満足度で評価され、運営していく上でプラスの要素となっている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適切に行われていた。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
 また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	高齢者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立授産場
	所在地	荒川区東尾久4 - 3 2 - 7
指定管理者	名称	公益社団法人 荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久4 - 3 2 - 7
施設開設年月日		昭和53年3月東京都から移管
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<p>荒川区立授産場条例の規定に基づく業務</p> <p>(1) 事業に関する業務 ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関すること。 イ：作業の相談及び指導に関すること。</p> <p>(2) 本施設の維持管理に関する業務 ア：施設及び付属設備の保守点検に関する業務。 イ：施設の清掃に関する業務。 ウ：備品の管理に関する業務。 エ：その他維持管理に関する業務。</p> <p>(3) その他区が必要と認める業務。</p>
平成24年度の事業計画		
<p>24年度基本方針は、昨年度と同様で以下の4点である。</p> <p>1：作業指導、健康増進、生きがいの高揚に取り組む。</p> <p>2：工賃確保のため、新規受注業者の開拓、毎月の工賃の平準化。</p> <p>3：月2回の健康診断と休憩時のラジオ体操の励行。</p> <p>4：個人情報保護の徹底。</p> <p>受注については、社会状況を踏まえると困難ではあるが、新たな業者の開拓と毎月の工賃の平準化を目標としている。</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>24年度末利用者は、21名である。</p> <p>受注については10社を確保している。</p> <p>月別平均工賃は、平均34,870円(23年：34,787円)となっている。平均工賃は前年度と同額を維持できた。最高月は12月の45,460円(23年度12月49,527円)。最低月は3月の26,681円(23年度5月25,158円)となっている。</p> <p>健康管理については、毎月2回(第2・4火曜日)に嘱託医による問診、血圧測定等を実施し、利用者の健康管理に取り組んだ。</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	17,422,000	16,720,000	16,435,000	16,671,000
	決算	16,502,409	16,518,136	16,192,170	
支出	予算	17,422,000	16,720,000	16,435,000	16,671,000
	決算	16,502,409	16,518,136	16,192,170	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の性格上、地域を対象とした事業は実施していないが、会議室を地域住民の利用に供している。 ・24年度授産場が受注した事業者10社中7社は荒川区の企業である。また、清掃等の施設管理を再委託している業者の多くが区内企業である。 ・区民雇用率60% ・障害者雇用率(法人全体)0% 適用除外

総評

[サービス面の評価]

月一人当たりの平均工賃は34,870円であり、昨年度34,787円を維持できている。

自らが働いて工賃を得るという「生きがい」を付与するという点で評価できる。

授産場の会議室について、地域住民の利用に供している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である公益社団法人荒川区シルバー人材センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉	課	高齢者福祉
--------	---	----	---	-------

平成 2 4 年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川 1 - 5 3 - 9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住 1 - 1 3 - 2 0
施設開設年月日		昭和 4 8 年 6 月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成 1 9 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 4 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 9 年 3 月 3 1 日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成 2 3 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけ、生活を楽しむ活動を通して生活の安定を図る。 ・諸活動に取り組むことで、生活経験をさらに豊かにする。 ・施設と家庭が連携し、相互理解を深め支援の一貫性を図る。 ・地域の施設として地域住民との交流を深める活動を行う。 		
平成 2 4 年度の事業実績		
<p>(定員) 40人 (利用者数) 35人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活活動として、食事、排泄、清潔保持等の介助を行い、また、それらを習得するための支援を行った。 ・仲間づくりを通して、安定した人間関係の構築を図った。 ・健康の維持や気分転換として個々人の状態に合わせ適度な運動を行った。 ・全体活動として、創作・自主生産活動を行い、個別活動として音楽療法、リズム体操、スイミング、調理実習等を行った。 ・施設公開や地域商店街での買物、区内施設との交流等を通じて地域住民やボランティアとふれあった。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	178,540,000	196,738,000	195,432,000	210,905,000
	決算	178,540,000	196,738,000	195,432,000	
支出	予算	178,540,000	196,738,000	195,432,000	210,905,000
	決算	173,296,259	183,387,710	186,703,827	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	5,243,741	13,350,290	8,728,173	
(備考)					
収支予算額・決算額は荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開や地域の行事への参加を積極的に実施している。 ・日常使用する消耗品等は区内業者を活用している。 ・区民雇用率 30.1% (施設全体) ・2.02% (法人全体)

総評

[サービス面の評価]

・利用者の生活活動や作業活動など個々のニーズに基づいた支援が適切に実施されており、新たに音楽療法を取り入れるなど、利用者の活動の幅を広げる工夫もされている。

・利用者アンケートの結果では、聞き取りを行えた利用者の施設に対する満足度が60%を超え、「嫌い」は0人であるなど、良好な評価を得ている。

・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、地域行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。

・今後も、利用者の視点に沿った生活支援や作業支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川1-53-9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		・知的障がい又は身体障がいのために就労能力の限られている人を対象に、作業指導及び生活指導等を通じて社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援事業B型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。 ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。 ・家庭及び関係機関との連携並びに地域の人々との交流を図り、地域での自立生活を支援する。 		
平成24年度の事業実績		
<p>(定員) 就労継続支援事業B型 48人 就労移行支援事業 7人 (利用者数) 就労継続支援事業B型 43人 就労移行支援事業 2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業方針として、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導した。(平均月額工賃9,005円) ・生活指導として、個別的指導及び所外活動等集団的な指導を行い、社会生活に必要な適応能力の向上を図った。 ・就労指導としては、利用者の心身の状況、性格を慎重に検討し、保護者の意見、要望を尊重して就職指導を行い、ハローワークでの求職登録や就職活動について、現状の把握・共有を行った。 ・一般企業での指導、訓練により効果が期待できる利用者について、一般企業での実習を1名、ハローワークでの実習を2名が行った。 ・異なった環境や仕事を通し、地域交流の促進や社会参加の拡大を図るため、アクロスあらかわ喫茶コーナー「ステップ」に2名の体験実習を行った。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	178,540,000	196,738,000	195,432,000	210,905,000
	決算	178,540,000	196,738,000	195,432,000	
支出	予算	178,540,000	196,738,000	195,432,000	210,905,000
	決算	173,296,259	183,387,710	186,703,827	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	5,243,741	13,350,290	8,728,173	
(備考)					
収支予算額・決算額は荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開や地域の行事への参加を積極的に実施している。 ・日常使用する消耗品等は区内業者を活用している。 ・区民雇用率 30.1% (施設全体) ・ 2.02% (法人全体)

総評

[サービス面の評価]

・利用者アンケートの結果では、施設に対する満足度「好き」が約70%に達するなど大変良好な評価を得ている。

・就労継続支援事業は、利用者の特性を十分考慮し、無理なく作業に適應できるよう配慮しながら作業支援を行い、平均工賃収入は9,000円を上回った。

・就労移行支援は、定期的な面談を通して利用者のニーズを明確にすると共に、スケジュール管理、履歴書の書き方等について支援を行っている。今後は一般企業への就労及び就労定着を目指した事業実施が期待される。

・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、地域行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。

・今後も、利用者のニーズを踏まえた作業支援や生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成 2 4 年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久6丁目17番3号 / 荒川区西尾久4丁目6番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1丁目53番20号
施設開設年月日		平成 7 年 4 月 1 日 / 平成 1 4 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成 1 8 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 1 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成 2 4 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と生活能力の向上等を図るため、各種作業訓練事業を実施する。 ・利用者や施設への理解等を深めるとともに、地域の方々との交流を図ることをとおして、地域で生活していくスキルを学ぶ機会とする。 ・食生活を豊かにし、マナーや社会性を養うことを目的に利用者の個々の健康状態等に応じ、各個人に適した食事を提供する。 ・利用者に対して疾病の予防と早期発見に努め、健康の保持・増進を図る。 ・利用者の通所のため、マイクロバスやリフト付ワゴン車を運行する。 ・所内での生活をより快適に、豊かなものにしていくために、保護者との連携を図り、相互理解を深める。 		
平成 2 4 年度の事業実績		
<p>(定員) 本所 3 9 人 分場 1 9 人 (利用者数) 3 8 人 分場 1 6 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と生活能力の向上等を図るため、リズム体操、陶芸、調理実習など各種作業訓練事業を実施した。 ・情報誌「あしあと」発行、施設公開「やかまし祭」、絵画展示などの実施をとおして、地域の方々の理解を深めるとともに交流に積極的に取り組んだ。 ・食生活を豊かにし、マナーや社会性を養うことを目的に利用者の健康状態等に応じた食事を提供した。自宅での現況を把握するため嗜好調査を行った。 ・利用者の疾病の予防と早期発見を目的に荒川保健所において健康診断を実施した。 ・利用者の通所のために、マイクロバス 1 台、リフト付きワゴン車をコース別に 5 台運行した。 ・保護者会、グループ保護者会を開催を通じて、役員会の運営を支援することで保護者との連携を図り、相互理解に努めた。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	216,671,137	215,627,571	223,397,705	216,063,926
	決算	217,124,497	216,075,891	220,885,849	
支出	予算	216,671,137	215,627,571	223,397,705	216,063,926
	決算	214,298,488	204,426,335	220,885,849	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	2,826,009	11,649,556	0	

(備考)

尾久生活実習所及び尾久生活実習所分場の合算である。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開(やかまし祭)や利用者の作品(絵画)の商店等への展示などを通じ、障がい者や施設への理解や共感を深めている。 ・地元町会と合同で防災訓練を実施している。 ・区民雇用率 55.9%(施設) ・障害者雇用率 2.02%(法人全体)

総評

[サービス面の評価]

・障がい者の基本的な生活習慣、生活能力の向上に取り組んでおり、充実したサービスの提供が行われている。
 ・施設公開や防災訓練などのイベント等をとおして、積極的に地域や地域住民との関わりや連携を図っており、地域に開かれた施設運営がなされていると評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
 また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者福祉会館（アクロスあらかわ）
	所在地	荒川区荒川2-57-8
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成9年8月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成21年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<p>・障がいのある方を主とし、さらにはボランティアや障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場として、多目的ホール・会議室等を提供する。</p> <p>・障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会、交流会等、各種事業を実施する。</p>
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・活動・交流の場として、ホール・会議室等の貸出し等の管理・運営を行う。 ・文化・教養講座事業を実施する。（知的障がい者向け料理教室、リズム体操教室等） ・IT講習会事業を実施する。（視覚障がい者向けIT講習会、介助者向けパソコンサポーター講座等） ・情報提供事業を実施する。（障害者福祉推進団体の作品展示・情報活動の提供、要約筆記講座、インターネットスポットの設置等） ・ふれあい事業を実施する。（バリアフリー講座、親子ボランティア講座、ステージ発表会等） ・その他各種事業を実施する。（ばん座位体操、アクロス・連合会まつり、体験発表会等） 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・貸室延利用件数：多目的ホール1,569件、第一・第二会議室993件、第三会議室200件 ・文化・教養講座事業（延参加者数）：知的障がい者向け料理教室17人、知的障がい者向けリズム体操教室64人、聴覚障がい者向け料理教室11名 ・IT講習会事業（延参加者数）：視覚障がい者向けIT講習会21人、介助者向けパソコンサポーター講座30人、障がいのある方向けパソコン入門25人 ・情報提供事業（延参加者数）：要約筆記講座46人 ・ふれあい事業（延参加者数）：バリアフリー講座172人、親子ボランティア講座71人、ステージ発表会14団体183人 ・その他各種事業（延参加者数）：ばん座位体操595人、アクロス・連合会まつり30団体295人、体験発表会92人 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	42,041,762	42,146,080	39,984,536	41,775,573
	決算	42,041,762	42,146,080	39,984,536	
支出	予算	42,041,762	42,146,080	39,984,536	41,775,573
	決算	41,888,324	39,308,567	39,984,536	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	153,438	2,837,513	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会との防災訓練、小中学校のバリアフリー講座、スポーツ交流会やアクロス連合会まつり等の事業を実施。 ・消耗品は区内業者から購入、委託先は半数以上が区内業者。 ・区民雇用率 60.0% (施設) ・2.02% (法人全体) ・こまめな消灯、エアコンの適温設定、印刷用紙の両面利用に努めた。リサイクル区分を徹底しゴミ排出の削減を行った。街なか避暑地として区のエコ対策、区民の節電にも貢献した。

総評

[サービス面の評価]

施設の基本的な運営、維持管理、各種事業の実施は事業計画に基づき適切に行っている。利用者のニーズに合わせた事業展開や利用者への丁寧な対応を心がけており、利用者アンケートからも、職員のサービス対応の満足度につながっていることが伺える。また、福祉避難所としての防災訓練を地元町会との連携で行い、地域との交流を一層深めたことも評価できる。

各種事業や施設利用の効果的な広報活動および、貸出率が低い部屋の利用率向上が課題である。施設の維持管理、定例的な各種事業に加えて、障がいがあるないに関わらず、様々な活動の場・交流の場等の拠点として、課題解決のための指定管理者独自事業の展開に期待する。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）
	所在地	荒川区東尾久5 - 45 - 11
指定管理者	名称	社会福祉法人トラムあらかわ
	所在地	荒川区荒川6 - 42 - 7 - 101
施設開設年月日		平成15年1月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の社会復帰や自立、社会参加を促進するための日常生活の支援や相談を行う ・精神障がい者の地域交流活動に関する事業を実施する。
平成24年度の事業計画		
<p>地域活動支援センターI型として、障害者の地域活動支援...グループ活動、教養・趣味講座、連続講座、週利用者ミーティング、利用者援助（常時） 地域交流活動...ボランティアミーティング（月1回）、公開講座、新年のつどい1月、納涼祭8月、クリスマス会12月 相談支援事業...電話相談・面接相談・フリースペースでの相談 指定相談支援事業...利用者からの日常生活全般相談・サービス利用計画の作成・居宅訪問による相談支援・電話相談。</p> <p>その他「区受託事業」として、精神保健福祉ボランティア育成のための連続講座・実習を行う。</p>		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・交流室、プログラム等利用者...延8,339名 ・地域活動支援プログラム参加者...延3,220名 創作的、レクレーション的活動プログラム（りずむ・夕食会等）参加者数...1,893名 自主活動的プログラム（てまり、ステップ等）参加者数...829名 地域交流プログラム（ボランティア講座、新年のつどい等）参加者数...498名 相談支援事業（電話・面接相談）...延19,154名 <p>その他「区受託事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定相談支援事業（19名） 精神保健福祉ボランティア育成のための連続講座・実習（43名） <p>実習生受入...27名 荒川社協サマーボランティア受入...6名</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	33,038,000	35,366,000	33,831,000	34,559,000
	決算	33,038,000	35,366,000	33,831,000	
支出	予算	33,038,000	34,111,555	33,831,000	34,559,000
	決算	33,038,000	34,111,555	33,831,000	
収支	予算	0	1,254,445	0	0
	決算	0	1,254,445	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A -
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内プログラム・イベント開催にあたり公共機関等社会資源に広報協力依頼。また、また地域住民の方や町会等関係者の参加協力もいただいている。 ・修繕や清掃業務等を選定時には区内業者を優先している。 ・区民の雇用 13人中、夜間電話相談員1人 7.6%(施設) ・障害者雇用率 0%(法人全体) 従業員56人未満の事業主は障害者雇用率制度による障害者雇用義務適用除外(平成25年3月31日まで) ・紙類・びん・缶類は有価物ゴミとして処理。コピー用紙・封筒等紙類の再利用徹底。エアコン温度設定の徹底。

総評

[サービス面の評価]

日常生活における援助等や電話相談・面接相談・フリースペースでの相談など、地域生活を送り自立促進のため、一人一人細かく丁寧なサービスがされ評価できる。またサービスを受身の立場だけでなく、地域住民の一人として子どもやお年寄りとの交流もみうけられ、生きがいや充実感を得る機会の提供にもなっている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人トラムあらかわは、収益性はわずかに欠損であるが成長性、安全性、活動性・健全性等、いずれも良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者グループホーム(ピアホーム西日暮里)
	所在地	荒川区西日暮里2-2-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
	所在地	新宿区西新宿8-3-39
施設開設年月日		平成6年4月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助事業(グループホーム)は企業及び福祉作業所等で就労している知的障がい者に居住の場を提供し、日常生活の援助及び生活指導を行う。 ・緊急一時保護事業は、在宅の障がい者(児)を介護している人が、緊急的(疾病等)理由及びレスパイト(介護者の旅行や休養等)により一時的に介護できない時に本施設内で保護する。
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの利用者支援として、利用者一人ひとりの意思を尊重し、「利用者に寄り添う」姿勢を基本に支援する。個々人が生活全般に対し満足感がもてるよう支援する。 ・緊急一時保護については、利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供をし、利用者の満足度を高める。利用率を上げるために、利用者の他に保護者を招き懇親会を開催。区と調整のうえパンフレットを作成する。 ・利用者の安全を第一に考え、職員間のコミュニケーションを密にしていく。防災管理、健康衛生管理、安全確保に努める。 ・保護者や入居者の就労先、日中通所先をはじめ、荒川区や各医療関係機関等と連携を取り、情報交換を行う。 ・計画的に防災訓練を実施する。災害の種類、場所、時間等の想定を変えながら、避難経路や留意点についての確認をする。 		
平成24年度の事業実績		
<p>(定員)グループホーム4人 緊急一時保護2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム利用者(延べ人数5名)3年間の利用期限がある中で有意義な生活を利用者にとっていただくために、サービス管理責任者と法人担当ワーカーとで利用者個人ごとに聞き取りを実施し、前期・後期に分けて個別支援計画書を作成した。 ・緊急一時保護 延べ利用日数415日(緊急一時保護2部屋合計) 利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供をするよう努めた。利用率向上のため、パンフレットを作成し区や関係機関に配布した。 ・世話人に対し、各研修を実施。自然災害や支援上のリスクに備えた。 ・保護者からの電話連絡やグループホーム訪問時には、相談や情報共有を行い日常生活支援に努めた。 ・定期的に避難訓練を実施。地域の震災訓練にも参加、世話人1名が消防団員として活動中。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	24,019,897	23,605,950	22,539,167	22,785,340
	決算	24,019,897	23,605,950	22,539,168	
支出	予算	24,019,897	23,605,950	22,539,167	22,785,340
	決算	23,903,959	23,605,950	22,386,016	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	115,938	0	153,152	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の総合震災訓練や区の行事に積極的に参加しており、世話人1名は消防団員として活動中である。 ・日用品については区内で購入するようにしている。 ・世話人3人のうち2人は区民である。 ・障害者雇用率(法人全体)1.60% 従業員56人未満の事業主は障害者雇用率制度による障害者雇用義務適用除外(平成25年3月31日まで)

総評

[サービス面の評価]

- ・利用者の日常生活支援・施設管理や危機管理などは適切な運用が行われており、サービス全体としての評価ができる。
- ・本施設の世話人は、社会福祉士・介護福祉士等の資格を有し、障害福祉に通じた者が利用者の支援を行っている。
- ・利用者アンケートにおいても、世話人の対応や施設の環境等の評価は良好である。
- ・地域の行事にも積極的に参加し、地域との交流を図っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都知的障害者育成会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（南千住二丁目住宅、町屋五丁目住宅、町屋七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、西尾久七丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目19番11号 他
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成4年4月28日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日から平成27年3月31日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成24年度の事業計画		
1 住宅営繕		一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）、計画修繕
2 環境整備		樹木剪定（害虫駆除を含む）
3 施設管理		受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム保守、エレベーター保守等
4 清掃・管理		定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備
平成24年度の実績		
1 住宅営繕		一般修繕（洗面台排水管修理等21件） 空家修繕（畳表替え等13件）、計画修繕（給湯器取替等）を実施
2 環境整備		樹木剪定を実施（害虫駆除は害虫が発生しなかったため実施せず）
3 施設管理		受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム、エレベーター保守等を実施
4 清掃・管理		定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備を実施

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	21,762,926	26,044,095	23,330,642	35,776,334
	決算	24,269,646	26,896,095	21,639,251	
支出	予算	21,762,926	26,044,095	23,330,642	35,776,334
	決算	24,269,646	26,896,095	21,639,251	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

22・23年度は、開設当初からの入居者の死亡等による退去(22年度12件、23年度16件)により空家修繕の件数が増加、長く居住していたため経年変化に伴い、より工事の規模、単価が大きくなっている。また23年度は計画修繕(町屋七丁目住宅、給湯器等)を実施したため、支出が増加している。

24年度は、空家修繕件数が引き続き高水準となっているが、計画修繕が想定よりも安価に実施できたため決算額は減少している。

25年度は計画修繕を予定しているため例年に比べ予算額が増額している。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> 区内事業者の活用 障害者雇用率 環境やエコに関する取組 	<p>24年度に実施した住宅営繕21件のうち、2件を区内事業者に委託している。保守委託業務については、19業務中11業務を区内業者に委託している。</p> <p>障害者雇用率は、1.96%であり、法定水準(1.8%)を満たしている。(平成24年6月1日現在)</p> <p>環境配慮の取組を着実かつ継続的に実行していくため、環境方針を策定し、事務所活動における環境対策として、組織体制を整備し、省エネ行動、エネルギー使用量の把握などを行っている。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設の保全、修繕及び改良、住居環境の整備について24時間体制による適切な管理がなされている。コストを低減しつつ区内業者の活用を図っており、良好な維持管理が行われている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また、指定管理者である株式会社東急コミュニティーは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づく運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面・財務面・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	区民住宅（西日暮里三丁目住宅、東日暮里六丁目住宅、町屋八丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区町屋五丁目9番2号他
指定管理者	名称	株式会社 東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成7年4月1日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日から平成27年3月31日
業務内容		1 区民住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成24年度の事業計画		
1 住宅営繕		一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）
2 環境整備		樹木剪定（害虫駆除を含む）
3 施設管理		受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、排水管清掃、エレベーター保守 消防設備保守（町屋五丁目住宅）等
4 清掃・巡回管理		定期清掃、巡回管理、床等日常清掃、ごみ置場等清掃
平成24年度の実績		
1 住宅営繕		一般修繕（ガス給湯器動作不良補修等114件） 空家修繕（壁クロス貼り換え等10件）を実施
2 環境整備		樹木剪定を実施（害虫駆除は害虫が発生しなかったため実施せず）
3 施設管理		受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、排水管清掃、エレベーター保守 消防設備保守（町屋五丁目住宅）等を実施
4 清掃・巡回管理		定期清掃（年4回）、巡回管理、床等日常清掃（週3回） ごみ置場等清掃（可燃ごみ収集日）を実施

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	40,920,494	47,283,390	38,661,000	82,240,327
	決算	37,660,506	45,305,928	38,259,963	
支出	予算	40,920,494	47,283,390	38,661,000	82,240,327
	決算	37,660,506	45,305,928	38,259,963	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

平成23年度は、計画修繕を実施した他、一般修繕の件数が増加したため、例年に比べ支出が増加している。

平成25年度は、計画修繕を予定しているため、例年に比べ予算額が増加している。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	B+
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> 区内事業者の活用 障害者雇用率 環境やエコに関する取組 	<p>24年度に実施した住宅営繕114件の内、25件を区内事業者に委託している。保守点検業務については、17業務の内、11業務を区内事業者に委託している。</p> <p>また、日常清掃、ごみ置場等清掃業務は区内事業者により行っている。障害者雇用率は、1.96%であり、法定水準(1.8%)を満たしている。(平成24年6月1日現在)</p> <p>環境配慮の取組を着実かつ継続的に実行していくため、環境方針を策定し、事務所活動における環境対策として、組織体制を整備し、省エネ行動、エネルギー使用量の把握などを行っている。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設の保全、修繕及び改良、住居環境の整備について24時間体制による適切な管理がなされている。コストを低減しつつ区内業者の活用を図っており、良好な維持管理が行われている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また、指定管理者である(株)東急コミュニティーは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づく運用を適正に行っている。

[総合評価]

財務面・労務面は、ともに良好である。一方で、サービス面において、日常清掃業務の一部に改善の必要があったが、改善が図られており、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署 部 防災都市づくり部 課 施設管理課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立小台橋保育園
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
施設開設年月日		平成16年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。	
平成24年度の事業計画		
<p>一人一人の子ども達が「なかま（保育園）・家庭・地域」の中で、健全な心身の発達を図り、共に育ちあえる保育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の福祉を増進するにふさわしい場（保育園）を創造する ・子ども達一人ひとりが自己を十分に発揮し、健全な心身の発達が図れるよう支援する ・子ども達一人ひとりの状況や発達過程を踏まえ、養護と教育が一体となった保育を行う ・人への愛情、人権を大切にする気持ち、自主自立協調の態度、道徳性の芽生えを培う ・地域の社会資源との連携を図り、保護者及び地域子育て家庭への子育てを支援する <p>保護者及び保育園職員そして地域の方々とともに防災意識を高める。</p> <p>実施定員 162名</p>		
平成24年度の事業実績		
<p>日々の保育では、子ども達の安全第一 心地よく過ごせる保育環境 子ども達の自主的主体的な活動支援 子ども達が保育園生活に楽しさを感じ「明日は何をしようか」と期待する気持ちが持てる支援 子どもも保育士も楽しいと感じる保育、等々を組み入れた保育を展開した。</p> <p>「子ども達の健康、意欲と創造性の力」「話を聞く、相手のことを思いやる気持ち」「助け合って友達と遊ぶ力」「音に親しみ豊かな感性を培い、豊かな表現力」「基本的生活習慣の実践」等、年齢ごとに達成できたことを確認できた。</p> <p>防災意識向上を図るため、リーフレットを配布し意識の醸成に役立てた。</p> <p>入所児数 161名（平成25年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	232,776,178	232,446,947	244,031,989	229,855,204
	決算	232,758,208	232,534,147	244,204,679	
支出	予算	220,939,178	230,106,086	240,488,749	218,073,798
	決算	219,611,504	228,665,199	237,033,937	
収支	予算	11,837,000	2,340,861	3,543,240	11,781,406
	決算	13,146,704	3,868,948	7,170,742	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生の保育実習、大学生や保育士養成課程実習、看護師養成実習等を積極的に実施している。また交流を通して地域の方々や施設関係者と連携を図っている。在宅育児親子が利用できる子育て交流サロン事業を実施している ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は46.9%となっており、積極的に区民を雇用した。 ・障害者は雇用していない。 ・日よけや節水こまの設置等により、節電節水に心がけた。園の畑については、干した雑草で肥料をまかなう等資源循環型の管理を行っている。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人教信精舎は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久8-10-12
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		昭和57年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。	

平成24年度の事業計画

乳幼児の健全な心身の発達のために
 子どもの健康、安全で情緒豊かな生活環境を準備し、保育園と地域、保護者の交流を深め養護と教育が一体となって、明るく、思いやりと感謝の心をもつ、素敵な子どもを養い育てる。
 保護者が子育てに喜びを感じるために
 就労と育児の両立を支援し、子育てが安心して楽しいと感じられる次世代育成支援に向けて、子育てサービスに取り組みながら地域で互いに支え合える施設を目指す。
 地域との交流や地域子育て支援
 地域との交流や子育て支援として、次の事業を行う。
 ・園庭の解放 ・ふれあい保育 ・近隣小中学校の体験学習交流や保育実習学生等の受入
 ・町会行事との交流 ・子育て相談 ・施設見学会の充実 ・児童虐待防止への取組 など

実施定員 123名

平成24年度の事業実績

- ・乳幼児が、人に対する優しさ、思いやり、いのちの尊さを学び、さまざまな体験から心豊かに成長できるよう、魅力ある保育を実践し、成果をあげた。また、体育遊びを取り入れ体力づくりにも力をそそいだ。
- ・子どもや保護者の生活環境、家族機能、労働形態、社会の状況の変化に対応しつつ、子どもの最善の幸せを重視した保育を行った。
- ・職員については、相互に理解される信頼関係の構築を図り、多くの研修会に参加させ、学びや謙虚な心の修得を図った。

入所児数 122名（平成25年3月現在）

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	202,166,000	195,030,000	191,062,000	186,160,000
	決算	201,478,756	194,912,383	197,684,448	
支出	予算	178,796,000	172,596,070	166,510,000	174,560,000
	決算	175,120,581	171,747,840	162,242,099	
収支	予算	23,370,000	22,433,930	24,552,000	11,600,000
	決算	26,358,175	23,164,543	35,442,349	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の通所サービスセンターへの訪問や、地域の方々の運動会への招待、交番・消防署へのクッキーの配布訪問など、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は54.4%となっており、積極的に区民を雇用した。 ・障害者雇用率は法人全体で2.8%で、法定水準1.8%を上回っている。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 子育て支援部 **課** 保育課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住4 - 9 - 4
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4 - 9 - 10
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。	
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を身に付ける、心身の発達を養う ・ 物事に対する善悪の判断、人に対する挨拶、感謝の心を育てる ・ 人との関わりの中で、人に対する思いやり、やさしさ、信頼感、自主性と豊かな感謝の心を培う ・ 生きる力を育て、命を大切にする基礎教育をする ・ 安全対策、情報公開の徹底に全力で取り組む ・ 在宅家庭へのサポートとして、相談、助言、支援、交流する場所を提供すると共に親睦を深め合う ・ 親子のふれあいを大切に、愛情が感じられるよう、豊かな感性や創造性を培う ・ 地域社会で異年齢交流を推進する <p>実施定員 136名</p>		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもや保護者の生活環境、労働形態の違いや社会状況の変化に対応しつつ、子どもの最善の幸せを重視し、取組成果を上げた。 ・ 職員は多くの研修会に参加し自己研鑽に努め、謙虚な心を修得した。 ・ 集団生活の中で、人に対する優しさ、思いやり、命の尊さを伝え、さまざまな体験から心豊かに成長できるよう魅力ある保育を実践した。 ・ 科学あそびや体育あそびも取り入れ、地域活動、異年齢での交流も積極的に実施し保育の質の向上に努めたほか、地域における子育て支援、子育て相談、園庭解放など在宅育児の支援にも努めた。 <p>入所児数 135名（平成25年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	201,529,000	204,520,000	201,664,000	195,440,000
	決算	204,785,729	204,418,074	204,494,384	
支出	予算	184,882,000	169,166,250	170,227,000	181,940,000
	決算	182,855,035	168,617,368	165,578,025	
収支	予算	16,647,000	35,353,750	31,437,000	13,500,000
	決算	21,930,694	35,800,706	38,916,359	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏祭りへの地域の方々の参加や、近隣の小中学生の職場体験の受け入れなど、地域の方々と積極的に交流を図った。保育実習生を受け入れ、地域との交流を深めてもらうほか、職員の保育充実も図ることができた。 ・ 食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・ 区民の雇用率は28.6%となっており、区民の雇用に努めた。 ・ 障害者雇用率は法人全体で2.8%で、法定水準1.8%を上回っている。 ・ 環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 子育て支援部 **課** 保育課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住8 - 3 - 3
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子2 - 19 - 21
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。	
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに寄り添うことで、自身が愛おしい存在として認められていると実感できるようにするなかで、様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち互いに育ちあえる保育の援助を行う。 保護者の様々な状況を把握したうえで思いを十分に受け止め安心して働けるように、職員間で情報の共有をし、細やかな連携・対応ができるように、努める。また、栄養士・看護師等の専門職員の観点からの相談援助も積極的に行う。 地域の子育て支援、地域の高齢者との交流、父親の育児参加、子育て力の向上のサポートなど、職員一同で共通理解のうえ充実を図る。また、小学校とも連携し個々の育ちの援助に力を注ぐ。 区の保育の動向を速やかに周知し、可能な限り待機児童解消などに協力する。 <p>実施定員 138名</p>		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災を踏まえ、避難経路の見直しを行い、職員全員に周知するとともに、備蓄食品についても見直しを行い、首都直下地震等の大災害に備え万全を期すこととした。 第三者評価を受審し、改善が必要とされる事項については速やかに対応した。 園児の表現活動（体操や絵画制作等）を充実させることに職員全員で取り組み、園児一人ひとりの人権を重んじ、個性を伸ばす保育に努めた。 事業計画に沿って保育に取り組み、各年齢別の保育活動、給食の提供、安全対策、地域交流など、それぞれの目標を達成した。 <p>入所児数 136名（平成25年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	213,056,000	211,053,000	214,851,000	214,464,000
	決算	213,306,399	211,776,785	214,837,305	
支出	予算	203,416,000	208,714,000	212,699,000	214,307,000
	決算	201,718,768	207,413,518	206,029,580	
収支	予算	9,640,000	2,339,000	2,152,000	157,000
	決算	11,587,631	4,363,267	8,807,725	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の体験授業の受入れのほか、近隣の保育園、幼稚園との交流を行った。また、老人会との交流では、一緒にふれあいを楽しみ、交流を深めた。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は30.7%となっており、区民の雇用に努めた。 ・障害者の雇用率は法人全体で1.76%で法定水準1.8%を下回っている。 ・古紙やLEDの活用、節水などにより、環境配慮に積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 子育て支援部 課 保育課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住8 - 5 - 5
指定管理者	名称	株式会社 こどもの森
	所在地	国分寺市光町2 - 5 - 1
施設開設年月日		平成18年1月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年1月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針及びガイドラインに則り、人間尊重の精神を基盤にそれぞれの発達の時期にふさわしい生活を展開しながら、社会性と感性を育て、心身ともに健康で豊かな人間の育成を目指す。 ・ 事業内容としては、認可保育園としての保育事業として、通常保育、11時間開所及び延長保育の実施、一時保育の実施、延長スポット保育の実施を行う。 ・ また、はなみずきひろば（地域サロン）を実施し、在園児だけでなく、地域の子育て家庭に地域サロン及び園庭を開放し、安全に楽しく、子育て家庭の交流の場を提供する。 ・ そのほか、小中学生体験学習の受け入れや各種ボランティアの受け入れ、地域交流を実施する。 <p>実施定員 173名</p>		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針及びガイドラインに則り、人間尊重の精神を基盤にそれぞれの発達の時期にふさわしい生活を展開しながら、社会性と感性を育て、心身ともに健康で豊かな人間の育成を目指す保育を実施した。 ・ 認可保育園としての通常保育、11時間保育、延長保育を着実にを行うほか、体操、英語、音楽指導、体力づくりとしての朝マラソンなど、年齢にあった保育活動にも注力した。また、地域サロンではお話会や園庭開放など子育て家庭の交流の場を提供するだけでなく、歯科医など専門家を招いての相談会を実施するなど、地域の保育資源としての役割を認識して活動を広げた。 ・ また小中学生の職場体験、ボランティアの受け入れなどの地域交流を積極的に行った。 <p>入所児数 173名（平成25年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	221,810,000	227,110,000	231,005,000	231,505,000
	決算	224,692,457	225,686,139	229,447,149	
支出	予算	196,936,000	191,650,000	198,950,000	200,700,000
	決算	193,366,310	190,510,467	197,122,309	
収支	予算	24,874,000	35,460,000	32,055,000	30,805,000
	決算	31,326,147	35,175,672	32,324,840	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設を訪問したり、町会婦人部と七夕の交流をした。また、夏祭り・運動会などの園行事に際して近隣商店街、町会等に行事案内を出し、参加を呼びかけるほか、地域の文化祭に園児の作品を発表したりした。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は5.6%となっている。 ・障害者雇用率は法人全体で1.1%で、法定水準1.8%を下回っている。 ・環境に配慮し、紙等のリサイクルを徹底するほか、水道光熱費に関しては、前年度の数字をもとに予算管理を行うことで節電、節水につなげている。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社こどもの森は、収益性、成長性、安定性、活動性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住保育園
	所在地	荒川区南千住6 - 35 - 3
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4 - 9 - 10
施設開設年月日		昭和42年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念、保育所保育指針に則り養護と教育、そして家庭とが一体となり豊かな人間性をもった子どもを育成する。児童の最善の幸せのために保育園の役割を果たし、目標や方針に共通認識をもち保育課程を見直していく。 ・ 人と人との関わりの中で、人に対する思いやり、やさしさ、信頼感、自主性と人に対する感謝の心を豊かに培う。 ・ 生きる力を育て、命を大切にすることを響き合わせ基礎教育をする。 ・ 安全対策、情報公開の徹底に全力で取り組む。 ・ 子どもの育ちを支え、相談、助言、支援、交流する場所を提供し、在宅家庭へのサポートと共に親睦を深め合う。地域社会で異年齢交流を結べるように図る。 ・ 職場の環境作り、職員のスキルアップのための研修に参加し、資質向上を目指す。また、ボランティア（お話し会）や実習生依頼（職場体験・保育実習）も受け入れる。 ・ 家庭や地域社会と連携を図り、子どもが健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように健全な心身の発達を図る。 ・ 事故・防犯・安全対策など適正な環境を整え、子どもの状況を把握し、向上に努め地域に根ざした保育運営を充実する。 <p>実施定員 175名</p>		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童憲章の理念を尊重し、保育所保育指針に基づいた保育計画を立て、子どもたちが現在を最も良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことを目指した保育を行った。 ・ 地域における子育て支援のため、子育て相談、行事への参加など在宅育児をされている方の利用など、保育園の機能を活かして積極的に取り組んだ。 ・ 子ども達が保育園で過ごす時間が豊かに実り多く、保育の質や心を育てる感性と一人ひとりの思いに寄り添い、心に触れ、日々保育に注いだ。また、職員一人ひとりが職場内外での研修を通じて資質向上に努め、選ばれる保育園となるよう保育士の育成に努めた。 <p>入所児数 173名（平成25年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	247,181,360	253,402,000	249,500,000
	決算	247,110,775	252,413,849	
支出	予算	244,511,360	231,313,000	237,400,000
	決算	205,326,177	236,353,428	
収支	予算	2,670,000	22,089,000	12,100,000
	決算	41,784,598	16,060,421	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の特別養護老人ホームに頻繁に訪問し、深い交流の絆が築かれている。また、地域の方々の運動会への招待、近隣のお寺でのお茶会など、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は31.9%であり、区民の雇用に努めた。 ・障害者雇用率は法人全体で2.8%で、法定水準1.8%を上回っている。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 子育て支援部 **課** 保育課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住七丁目保育園
	所在地	荒川区南千住7-20-13
指定管理者	名称	社会福祉法人 東萌会
	所在地	埼玉県越谷市七左町一丁目347番地
施設開設年月日		平成24年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年7月1日
指定期間		平成24年7月1日～平成29年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。	
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・運営初年度でもあることから、特に園児とその保護者の満足を重視するため、利用者（特に園児）を早く深く理解すること、利用者に早く当法人（社会福祉法人東萌会）を受け入れてもらうことに注力する。 ・一人ひとりの子どもが人間形成の基礎を培えるように支えること、それぞれの家庭に合わせて優しく子育てを支えることを保育理念とし、子どもが楽しく過ごせ、安心して子供を託せる保育園を目指し、心も体もすこやかな子供を育成するために、情育、知育、意育、体育のバランスのとれた保育を目指す。 <p>実施定員 141名</p>		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画時に最重要課題として掲げた2点については、次のとおりの成果があった。まず、「利用者（特に園児）を早く深く理解すること」については、個人面談、保護者面談会をそれぞれ年2回、さらにいつでも個人面談を実施し、子どもが安心して保育園で過ごせるよう、また、保護者との信頼関係を築けるよう、努めた。また、「法人の受け入れ」については、園の運営について丁寧に説明しつつ、常に保護者の声に耳を傾け、意見や要望を受け入れ、速やかな改善を図ることで、保護者のニーズに対応するよう努めた。 ・このほか、一時保育事業、子育て交流サロン事業を実施し、在宅で育児する保護者の支援にも努めた。 <p>入所児数 92名（平成25年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算			152,213,000	193,426,000
	決算			152,209,860	
支出	予算			133,895,000	180,959,000
	決算			133,757,224	
収支	予算			18,318,000	12,467,000
	決算			18,452,636	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々を夏祭りや運動会へ招待したほか、近隣の高齢者施設等への敬老の日お手紙投函、消防署、近所の工場などへのプレゼントなど、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・食料品や消耗品等、購入先については原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は24.6%であり、区民の雇用に努めた。 ・障害者は雇用していない。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。特に用紙については古紙の利用や使用枚数のカウントによる節約の意識づけに取り組んだ。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人東萌会は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 子育て支援部 **課** 保育課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場
	所在地	荒川区南千住四丁目1番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	東京都足立区六町4-12-2
施設開設年月日		平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積: 2247.98㎡ ・収容台数: 自転車 1,485台(定期利用1,285台、一時利用200台) 原動機付自転車 25台(定期利用20台、一時利用5台)	
平成24年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検(コンベア、ゲートシステム等)を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として次の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽の販売サービスを行う。 		
平成24年度の実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者を適切な場所に誘導した。高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った(券売機修繕等)。また、ゲートシステム保守点検(年3回)、自転車搬送用コンベア保守点検(年4回)、消防設備保守点検(年2回)を行った。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽の販売サービスを行った。 8 定期利用登録率(登録者数/収容台数) 91.8%(平成25年3月31日現在) 一時利用率(利用者数/収容台数) 31.5%(1日平均) 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	32,766,000	33,553,705	40,140,535	40,140,535
	決算	38,209,410	36,046,270	35,777,105	
支出	予算	29,441,000	29,478,705	30,089,535	31,638,135
	決算	25,595,744	26,302,244	29,272,342	
収支	予算	3,325,000	4,075,000	10,051,000	8,502,400
	決算	12,613,666	9,744,026	6,504,763	
(備考)					
南千住駅周辺の民営駐輪場の影響もあり、収入は減少傾向である。					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前放置自転車クリーン作戦に参加した。 ・消耗品等をできるだけ区内の店で購入した。 ・区民を優先的(11人中5人)に雇用した。 ・障害者雇用率 1.12% ・照明の一部をLED蛍光灯に交換するとともに、一部の照明を消灯するなど節電を行った。

総評

[サービス面の評価]

利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、高齢者・障がい者専用場所の確保等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	防災都市づくり	課	交通対策
--------	---	---------	---	------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	センターまちや自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号
指定管理者	名称	サイカパーキング株式会社
	所在地	東京都中央区日本橋小網町7番2号
施設開設年月日		平成8年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積: 1437.68㎡ ・収容台数: 自転車1,407台(定期利用1,200台、一時利用207台)	
平成24年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検(コンベア、ゲートシステム等)を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として主に次の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽・サドルの汚れ拭きタオルを貸出す。 ・月間(隔月)自転車対策キャンペーン(あいさつ強化月間等)を行う。 		
平成24年度の実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者を適切な場所に誘導した。高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った(自転車ラック修繕等)。また、ゲートシステム保守点検(年3回)、自転車搬送用コンベア保守点検(年4回)を行った。消防設備保守点検は、センターまちや管理組合により行われた。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽・サドルの汚れ拭きタオルを貸出した。 ・月間(隔月)自転車対策キャンペーン(あいさつ強化月間等)を実施した。 8 定期利用登録率(登録者数/収容台数) 125.6%(平成25年3月31日現在) 一時利用率(利用者数/収容台数) 130.9%(1日平均) 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	44,013,000	45,314,099	44,735,230	45,210,781
	決算	43,553,100	44,602,490	44,598,990	
支出	予算	38,662,000	39,924,565	40,605,793	41,151,401
	決算	38,482,652	39,448,257	40,914,454	
収支	予算	5,351,000	5,389,534	4,129,437	4,059,380
	決算	5,070,448	5,154,233	3,684,536	
(備考)					
平成23年度末、町屋駅近くに民間駐輪場が2施設開設されたため、収支に影響をうけている。					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前放置自転車クリーンキャンペーンに参加した。 ・消耗品等をできるだけ区内の店で購入した。 ・区民を優先的(12人中9人)に雇用した。 ・障害者雇用率 1.9% ・照明の一部を間引いて節電を行った。

総評

[サービス面の評価]

利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、業務基準書を上回る人員の配置等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者であるサイカパーキング株式会社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	防災都市づくり	課	交通対策
--------	---	---------	---	------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里二丁目24番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	東京都足立区六町4-12-2
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：1706.98㎡ ・収容台数：自転車 1,270台（1,100台、一時利用170台）
平成24年度の事業計画		
1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検（コンベア、ゲートシステム等）を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。防火管理責任者による自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として次の事業を行う。 ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽の販売サービスを行う。 ・自転車の軽微な修理サービスを行う。		
平成24年度の実績		
1 利用者を適切な場所に誘導した。高齢者や子どもも乗せ自転車等の入出の補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った（システム修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年2回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年2回）、消防設備保守点検（年2回）、エレベーター保守点検（毎月）を行った。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽の販売サービスを行った。 ・自転車の軽微な修理サービスを行った。 8 定期利用登録率（登録者数 / 収容台数） 49.8%（平成25年3月31日現在） 一時利用率（利用者数 / 収容台数） 135.9%（1日平均）		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	31,815,000	18,257,090	19,736,390	20,265,889
	決算	17,937,110	20,744,860	21,538,380	
支出	予算	28,686,000	26,973,090	26,631,390	27,356,574
	決算	26,074,991	25,849,703	26,245,766	
収支	予算	3,129,000	-8,716,000	-6,895,000	-7,090,685
	決算	-8,137,881	-5,104,843	-4,707,386	

(備考)

収支決算は支出超過となっているが、毎年縮減傾向となっている。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前放置自転車クリーンキャンペーンに参加した。 ・消耗品等をできるだけ区内の店で購入した。 ・区民を優先的(11人中7人)に雇用した。 ・障害者雇用率 1.12% ・一部の照明を間引いて節電を行った。

総評

[サービス面の評価]

利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、高齢者・障がい者専用場所の確保等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 防災都市づくり 課 交通対策

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川7-20-1
指定管理者	名称	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川7-20-1
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習・文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。 【施設概要】 会議室4室(33人～45人)、多目的ホール(154人)、音楽練習室、ふれあい広場

平成24年度の事業計画

- ・区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。
- ・カルチャー講座では絵画や音楽、外国語など幅広いジャンルの講座を実施する。
- ・自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できるなないろひろばや、地域住民が気軽に親しめるミニコンサートやきっかけ作り事業を実施する。
- ・24年度は、利用者アンケートを2回実施し、時期によって異なる要望を把握するほか、コピー機を入れ替え、安価で利用しやすい印刷サービスを提供する。
- ・社会教育関係団体等を対象とする施設利用料・その他の付帯設備利用料及び利用料の減額は平成23年度の額と同様とする。
- ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。
- ・職員研修を実施する。

平成24年度の実績

- ・カルチャー講座では605講座を実施し、受講者数は6,136人であった。
- ・24年度は自主事業として「なないろひろば」を開催し、コンサートに加え、バルーンアートや健康講座など、幅広い年代に楽しんでもらう講座を行い、延べ700人の参加があった。
- ・社会教育関係団体等を対象とする施設利用料・付帯設備利用料及び利用料の減額は平成23年度の額と同様とした。
- ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施した。
- ・24年度は、担当職員が朝礼等で情報を共有し、さらなる接遇への改善を図った。

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	37,503,211	36,608,138	36,207,000	36,207,000
	決算	36,602,460	36,291,650	37,130,517	
支出	予算	37,503,211	36,608,138	36,207,000	36,207,000
	決算	35,869,257	34,793,793	36,021,216	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	733,203	1,497,857	1,109,301	

(備考)

平成24年度はカルチャー講座受講者の増加に伴い、収入増となった。支出は縮減努力により、予算内に抑えている。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域とのかかわり	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料で鑑賞・参加できる「なないろひろば」事業を毎月実施し、延べ700人の方にご利用いただいた他、「1日文化体験フェア」では受講者の発表の場を作るなど、利用者と共に事業を実施した。また、年に1回「利用者懇談会」を実施し、日頃から利用者の声を聞き、事業の改善を図っている。 ・ 24年度は12の再委託業務のうち、7業務について区内の業者に再委託している。修繕、消耗品の購入等、区内業者に配慮している。 ・ 雇用者数が少人数であるため、障害者の雇用は現状では困難であるが、雇用できる体制作りに向けて努力していく。 ・ 利用のない時間帯は消灯・減灯する等、節電に配慮している。コピー用紙は古紙パルプ配合率80%以上のものを使用する等、環境配慮に努めている。また、緑のカーテンの設置の他、24年度はエコキャップの回収ボックスを設置した。

総評

[サービス面の評価]

施設利用者の意見を集約し反映させるため、施設利用及び職員対応等に関するアンケートを1ヵ月間にわたり実施し、アンケート結果の調査・分析を行った。アンケート結果を踏まえて再委託先職員に接遇改善を指導する等、迅速に対応した。

利用しやすく安全な施設運営を行っており、体験フェアや独自の参加・鑑賞事業を通して生涯学習や芸術文化鑑賞、区民の交流の場として成り立っている。

月に1度開催している「なないろひろば」では講演会やミニコンサートを実施したほか、「1日文化体験フェア」では体験型・きっかけ作り事業を実施した。「なないろひろば」、「1日文化体験フェア」とともに、地域の方々が楽しみながら気軽に文化活動を体験できる場として、定着しつつあり、施設の周知や利用率向上に向けて努力していると評価できる。施設全般的に利用率は高いが、ふれあい広場の更なる活用について期待したい。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正である。また指定管理者である公益財団法人荒川区芸術文化振興公社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	教育委員会事務局	課	社会教育課
--------	---	----------	---	-------

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立清里高原ロッジ・荒川区立清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里3545-5
指定管理者	名称	株式会社ニッコトラスト・尾瀬林業プロジェクト
	所在地	東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4階
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等が行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳(ﾊﾞｯﾄ)1室、研修室洋間5.5㎡、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室、リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、浴室、体育室 ・開設期間(平成24年度)：4月27日(土)～11月4日(月) 	
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務(清里の気温や天気等のリアルタイム情報提供、利用者とのコミュニケーション向上等)、賄業務(食事選択性の導入、特別料理の提供)、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 ・荒川区内の都電停留所(三ノ輪橋停留所は除く)へのPRポスターの掲示や、区内の団体等へのPR活動を行い、利用者の増加を図る。 ・施設周辺に小売店がないため、施設利用者の利便性を確保し利用者サービスの向上を図るため、清里高原ロッジ食堂内に、引き続き飲料やビール等の自動販売機を設置する。 ・広報活動(ホームページの開設、広報誌の発行)を実施する。 		
平成24年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし事業としてウェルカムドリンク(清里の水で抽出した麦茶等)及びアメニティ(浴用セット及び浴衣等)の提供を実施した。 ・夕食に地産野菜のサラダバー、朝食(和洋選択)に地産牛乳やヨーグルトを提供するなど、料理の充実に努めた。 ・バスツアー(そば打ち・リンゴ狩り)を10月に2回企画したが、催行人数に満たず実施できなかった。体験ツアー(森林健康ツアー、フォトハイクツアー)を9月に2回、10月に1回企画したが、応募人数が14名(1回目0名、2回目9名、3回目5名)と催行人数に満たず、実施できなかった。 ・昆虫標本や環境展示物を少年自然の家の食堂前に設置した。関心を持って閲覧する方も多く、今後は野鳥の説明掲示物等の展示を検討する。 ・ホームページについては、コンテンツを作成するなど準備を進め、25年7月に開設予定である。 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	76,730,000	75,607,000	75,991,280	77,327,900
	決算	77,703,529	74,553,556	75,215,785	
支出	予算	76,730,000	75,607,000	75,991,280	77,327,900
	決算	74,253,089	73,586,368	75,914,991	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	3,450,440	967,188	-699,206	

(備考)

・重油単価の高騰、電気使用基本料金の値上げに加え、除雪用機械のレンタル料やボイラーの燃焼灰の発生による機器点検や灰の処理等で収支決算が支出超過となった。
 ・重油高騰等の影響はあったが、引き続きサービス内容の充実や節電等に努めた。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	B+
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数の増加と地域との連携を強化するため、施設所在地の北杜市や関係機関に働きかけ、市内のイベントの情報や写真の提供を受けて、荒川区のホームページに掲載している。 ・施設所在地が山梨県北杜市にあるため、購買先や再委託先について区内業者に配慮することは難しい。地元での調達については配慮している。

総評

[サービス面の評価]

・開設から30年が経過していることに加え、寒暖の差が激しい気候条件のため、施設の劣化が進行しているが、開設前や日常清掃の徹底、食事選択制の導入や地産食材の提供等、丁寧なサービスを心がけており、良好なサービスが提供されていると評価できる。
 ・飲料の自動販売機や冷蔵庫の設置、浴衣や浴用セットの提供など、利用者からの要望に応えていると評価できる。
 ・今後も経費削減努力を怠ることなく、利用者数増加のための自主事業の更なる工夫や、利用者サービスの向上に努め、経営改善努力を期待したい。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社ニッコトラストは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
 また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

施設管理、財務・労務面は良好であった。一方で自主事業の企画等において課題があると考えられるが、区民ニーズの調査や周知活動を行うことにより改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署 部 教育委員会事務局 課 社会教育課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川3-49-1
指定管理者	名称	株式会社読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄1-2-1
施設開設年月日		平成9年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室(30人～80人)、音楽室(40人)、多目的室(60人)、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>	

平成24年度の事業計画

- ・「区民カレッジ」においては、募集を行うと数日のうちに満員になる盛況ぶりの反面、受講者層の固定化が見受けられたため、24年度は新たな講座を積極的に企画し、より幅広い区民に生涯学習の機会を提供し、区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する。
- ・「IT講習会」は、「ワード2007入門」「ワード2007活用」というように段階的に学べるようにし、一人ひとりの受講者のニーズに適切に対応できるようにする。
- ・日常の受付業務において、職員の研修・教育に力を入れるとともに、区民の要望を迅速かつ積極的に取り入れ、区民が信頼し安心して学べる環境づくりを行う。
- ・施設の老朽化対策について、財政状況等を考慮しながら区民からの改善要望が多かった件を優先し改善していくことで、より安全で快適なセンターの実現を図る。

平成24年度の事業実績

- ・区民カレッジについて、より幅広い区民に受講していただくため、新たな分野の講座を実施し、10講座中9講座において定員を超える申し込みがあった。年間受講者数は前年度比で約16%増加し3,548人となった。また初めての試みとして親子で音楽に親しむ講座として「讀響OBコンサート」をサンパール荒川で行い、来場者数は123人となった。(講座実施数：62回)
- ・「IT講習会」については、一人ひとりの受講者のニーズに対応した講座構成にしたことや区報やホームページを活用した周知を行うなどにより、受講者数は前年度比で約14%増加した。(51講座・受講者数949人(延べ3,577人))
- ・日常の受付業務において、職員全員が笑顔と挨拶を励行し、事務所の外部に受付のカウンターを設けたり、事務所窓口のガラス戸を外し受付業務を行ったりするなど、接遇の向上と利用者に親しまれる雰囲気づくりに努めた。

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	64,586,000	62,300,000	62,454,000	64,764,000
	決算	64,842,652	62,276,431	62,461,341	
支出	予算	64,586,000	62,300,000	62,454,000	64,764,000
	決算	62,871,895	62,726,521	61,228,453	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	1,970,757	-450,090	1,232,888	

(備考)

前年度に引き続き経費の見直しを積極的に行ったことで、新たな事業に取り組み支出を縮減するという効率的な施設運営を実施した。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	B+
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の盆踊り大会に施設提供する等地域に協力している。 ・区内業者を積極的に活用するよう配慮している。 ・法人の障害者雇用率は1.26%であるが、生涯学習センターにおいては、現在障害者は雇用していない。 ・エアコンの推奨設定温度の徹底や、また緑のカーテンの実施など区民や利用者に喜ばれるエコ活動を行っている。

総評

[サービス面の評価]

・区民カレッジにおいて、新たな分野の講座を実施し、また講座の内容の改善・充実を試みたことで、年間受講者数は前年度比約16%増加したことは、「より幅広い区民に生涯学習の機会を提供し、区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する」という事業計画を実現している。

・日常の受付業務において、職員全員が笑顔と挨拶を励行し、事務所の外部に受付のカウンターを設けたり、事務所窓口のガラス戸を外し受付業務を行ったりするなど、日頃から職員全体で接遇の向上に努めている。

・アンケート結果においては、受付対応については「非常に良い」または「良い」が約40%、電話対応については「非常に良い」または「良い」が約27%となっているが、今後はさらに「非常に良い」「良い」の評価が増えるよう努力を求める。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社読売・日本テレビ文化センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

施設管理、財務・労務面は良好であった。一方で接遇面は、アンケート調査結果等から課題があると考えられるが、接遇研修等を行うことにより改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署 部 教育委員会事務局 課 社会教育課

平成24年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川総合スポーツセンター
	所在地	荒川区南千住6 - 45 - 5
指定管理者	名称	T M共同事業体
	所在地	代表企業:株式会社東京アスレティッククラブ 中野区中野2 - 14 - 6
施設開設年月日		昭和60年6月2日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成22年4月1日 ~ 平成25年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区教育委員会が必要と認める業務
平成24年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に対する受付や料金徴収業務、スポーツ施設予約システムによる利用者登録手続きや予約代行業務、日常清掃業務や定期清掃業務の適切な実施をする。 ・温水プールやトレーニングルーム、卓球、バドミントンなどの個人利用の実施や、大小体育室の団体利用対応、スポーツ教室の実施、区主催イベントへの協力等を実施する。 ・利用者のニーズを把握するためのアンケートを実施し、アンケートの結果を施設運営や教室事業に反映し、展開する。 		
平成24年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・団体利用者数 236,564人(前年度比 21,793人) ・個人利用者数 139,030人(前年度比 8,828人) ・利用料免除者 47,693人(前年度比 2人) ・教室受講者数 143,665人(前年度比 12,520人) ・計 566,952人(前年度比 43,139人) <p><教室・講習会>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定会員制教室 (ｽﾎｰﾂ教室 / 17種類・30ｺｰｽ) (水泳教室 / 19種類・66ｺｰｽ) 自由会員制教室 (ｽﾎｰﾂ教室 / 12種類・17ｺｰｽ) (水泳教室 / 2種類・7ｺｰｽ) キッズルーム教室 (11種類・28ｺｰｽ) 自主事業教室 (23種類・29ｺｰｽ) 		

施設決算状況

年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収入	予算	244,677,613	250,106,981	250,954,808	251,430,823
	決算	239,018,891	241,238,480	245,023,359	
支出	予算	244,677,613	250,106,981	250,954,808	251,430,823
	決算	239,967,691	244,431,606	241,589,528	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-948,800	-3,193,126	3,433,831	

(備考)

・電気、水道、ガスの使用量の節減により、光熱水費の負担が減り、支出の削減につながった。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	B
5 法人決算	A
6 労務	B+
7 地域との関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川区体育協会の理事会に参加し区の体育団体と連携している。 ・24年度は、修繕費の6割程度が区内発注となっており、製造元の指定以外は積極的に区内事業者を活用している ・職員（非常勤職員含む）のうち、23%程度が区民となっており、指導の経験や技能を必要とされる職以外は、積極的に区民を雇用している。 ・施設の利用に不便をかけない方法で、電気、水道、ガスの使用料の節減を行った。電気、ガスの使用量は22年度比25%以上、水道は22年度比40%以上の節減を達成した。

総評

[サービス面の評価]

開設から29年を迎え、施設の老朽化が進行しているが、限られた予算で利用者の安全、利便性を優先した修繕、設備管理を行っており、適切な施設管理を行っている。

運営においては、新規教室の開設、オリンピック選手によるイベントの実施など、利用者のニーズに応じた事業展開を行い、教室受講者数は、23年度比12,000人以上増加した。また、個人利用や団体利用も含む総利用者数も、40,000人増加している。利用者増加への努力を評価できる。

今後は、更なる利用者増加とともに、高齢者向けの教室の充実や障がい者スポーツの推進など、幅広い方々の利用の促進に期待したい。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理について、適切に経費計上されていない科目があったので、一部経費について改善を要する。

指定管理者であるTM共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っているが一部、書類管理に不十分な点が確認された。

[総合評価]

サービス面は良好であった。一方で財務面は、「適切な会計手続がなされている」という視点において一部の経費について、適切に整理されていない科目があった。また、労務面は、「労働環境が適正である」という視点において書類管理が不十分な点があった。しかし、全体として指定管理業務は確実に進められていたと評価できる。なお、書類管理については、改善策が示された。

担当所管部署	部	教育委員会事務局	課	社会体育課
--------	---	----------	---	-------